

全国知事会訪中代表団
視察報告

平成3年8月3日～8月13日

全国知事会

写真あり

李瑞環中国共産党中央政治局常務委員との記念撮影（8月5日 北京市・人民大会堂）

写真あり

中日友好協会主催歓迎宴で挨拶する孫平化会長（8月4日 北京市・人民大会堂）

写真あり

張志剛敦煌市人民政府市長主催歓迎宴（8月7日 甘肅省敦煌市・敦煌賓館）

写真あり

黄河を渡るために作られた羊の皮のイカダに乗る (8月8日 甘肃省蘭州市・黄河)

写真あり

雁灘郷の果樹園を視察 (8月8日 甘肃省蘭州市・雁灘郷)

写真あり

賈志傑甘肅省人民政府省長との記念撮影（8月8日 甘肅省蘭州市・蘭州飯店）

写真あり

生活服務公司第一幼稚園を視察（8月9日 甘肅省蘭州市・蘭州化学工業公司）

写真あり

陝西歴史博物館にて（8月10日 陝西省西安市・陝西歴史博物館）

写真あり

華清池にて（8月11日 陝西省西安市・華清池）

写真あり

孫達人陝西省人民政府副省長との記念撮影（8月11日 陝西省西安市・人民政府）

写真あり

趙啓正上海市人民政府副市長との会見（8月12日 上海市・新錦江飯店）

1 は し が き

本会は、この度、中日友好協会の招待を受け、西尾鳥取県知事を団長とする代表団を結成し、8月3日から8月13日までの11日間中国を訪問した。

代表団は中国滞在中、北京において李瑞環中国共産党中央政治局常務委員、孫平化中日友好協会会長と会見し懇談したほか、甘肅省蘭州・敦煌、陝西省西安、上海を訪問し、各省省長、市長等と会見し意見の交換を行った。また、医科大学、研究院、幼稚園、企業、農家、開発区等の視察を行うとともに、博物館、古寺、史跡等の文化的遺産を見学するなど、行政・産業・文化の各分野にわたって見聞した。

今回の視察を通じて、訪中代表団は中国側から友好的な歓待を受け、中国の姿貌・躍進の状況等についても正確な情報を得て、今後の日中両国間の相互理解と友好親善の発展のため有意義な役割を果たすことができた。

本報告書は、この中国訪問について、成田出発から帰国までの各地歴訪のあとをたどり、主要行事の概略を記したものである。

なお、今回の訪中に当たり、御配慮を頂いた日中両国の関係各位に厚く謝意を表する次第である。

2 全国知事会訪中代表团名簿

団 長	鳥 取 県 知 事	西 尾 邑 次
団 員	東 京 都 副 知 事	牧 野 洋 一
団 員	愛 知 県 副 知 事	奥 田 信 之
団 員	兵 庫 県 副 知 事	板 野 英 彦
団 員	岡 山 県 副 知 事	吉 原 孝 司
団 員	山 口 県 副 知 事	村 岡 満
秘 書 長	全 国 知 事 会 事 務 総 長	砂 子 田 隆
随 員	全 国 知 事 会 職 員	金 岡 和 男
随 員	鳥 取 県 職 員	尾 坂 英 己

〔中国側同行者〕

中日友好協会理事	許 金 平
中日友好協会職員	李 勁 松

3 全国知事会訪中代表団順路図

写真あり

4 全国知事会訪中代表团中国滞在日程

第1日 8月3日(土)

(北京市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
10:30 14:55	新東京国際空港発 北京首都空港着	NH905 便	結団式 新東京国際空港南ウイング特別待合室南3号室(9:30~10:10) 歓迎式 貴賓室VIPルーム4号室(15:05~15:27) 出席者 王 效 賢 中日友好協会副会長 王 慶 英 中日友好協会理事 許 金 平 中日友好協会理事 李 勁 松 中日友好協会職員 野坂康夫 在中華人民共和国日本国大使館参事官
15:30 16:10 17:45 17:55	同 上 発 北京貴賓楼館店着 同 上 発 長富宮飯店着	乗用車 " "	橋本恕在中華人民共和国日本国特命全権大使招宴 長富宮飯店牡丹苑(18:00~20:30) 出席者 橋本 恕 在中華人民共和国日本国特命全権大使 野坂康夫 在中華人民共和国日本国大使館参事官 亀井啓次 在中華人民共和国日本国大使館三等書記官
20:35 20:45	同 上 発 北京貴賓楼飯店着	"	

[北京貴賓楼飯店 泊]

第2日 8月4日(日)

(北京市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
8:30	北京貴賓楼飯店発	乗 用 車	
10:10	万里の長城着		万里の長城(八達嶺)見学
11:25	同 上 発	〃	
12:15	明の十三陵着		明の十三陵、定陵博物館見学
14:00	同 上 発	〃	
15:00	北京貴賓楼飯店着		
17:45	同 上 発	〃	
17:55	人民大会堂着		孫平化中日友好協会会長主催歓迎宴 人民大会堂北京庁(18:00~20:25) 出席者 孫 平 化 中日友好協会会長 王 效 賢 中日友好協会副会長 陸 琪 中日友好協会理事 陳 永 昌 中日友好協会副秘書長 王 慶 英 中日友好協会理事 陳 兆 華 中日友好協会理事 許 金 平 中日友好協会理事 李 勁 松 中日友好協会職員 高 雲 中国人民対外友好協会友好城市弁公室主任 野坂康夫 在中華人民共和国日本国大使館参事官
20:30	同 上 発	〃	
20:35	北京貴賓楼飯店着		

[北京貴賓楼飯店 泊]

第3日 8月5日(月)

(北京市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
8:50 8:55	北京貴賓楼飯店発 人民大会堂着	乗用車	李瑞環中国共産党中央政治局常務委員会見 人民大会堂福建庁(9:00~10:00) 出席者 李 瑞 環 中国共産党中央政治局常務委員 孫 平 化 中日友好協会会長 王 效 賢 中日友好協会副会長 ほか 野 坂 康 夫 在中華人民共和国日本国大使館参事官
10:05 10:15	同 上 発 故宮博物院着	〃	故宮博物院見学
11:15 11:30	同 上 発 北京貴賓楼飯店着	〃	全国知事会訪中代表団主催答礼宴 北京貴賓楼飯店紫金庁(12:00~14:25) 出席者 孫 平 化 中日友好協会会長 黄 世 明 中日友好協会副会長 王 效 賢 中日友好協会副会長 ほか 彭 瑞 聰 北京医科大学校務委員会主席 ほか 野 坂 康 夫 在中華人民共和国日本国大使館参事官
14:40 15:10	同 上 発 北京医科大学着	〃	北京医科大学視察 出席者 彭 瑞 聰 北京医科大学校務委員会主席 劉 世 傑 北京医科大学公共衛生学院名誉院長、教授 王 繼 山 北京医科大学第三臨床医学院院長、教授 強 正 富 北京医科大学外事處處長
16:15 17:38	同 上 発 北京貴賓楼飯店着	〃	
18:00 18:15	同 上 発 御膳飯店着	〃	夕食(御膳飯店・宮廷料理 18:20~19:55) 出席者 許 金 平 中日友好協会理事 馬 玉 華 中日友好協会職員
20:00 20:15	同 上 発 北京貴賓楼飯店着	〃	

[北京貴賓楼飯店 泊]

第4日 8月6日(火)

(北京市、甘肅省蘭州市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
9:00	北京貴賓樓飯店発	乗用車	王效賢中日友好協会副会長ら見送り
9:48	北京着都空港着		
10:25	同上発	WH2112便	
12:35	蘭州空港着		程有清甘肅省人民政府外事弁公室主任ら出迎え
12:50	同上発	乗用車	
13:45	甘肅省博物館着		甘肅省博物館見学 出席者 初 世 賓 甘肅省博物館館長 時 俊 蘭 甘肅省博物館職員 程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任 齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長 費 亜 夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長 李 文 徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員
16:10	同上発	〃	
16:25	金城賓館着		
16:45	同上発	〃	
16:55	甘肅省人民政府着		甘肅省人民政府表敬訪問 甘肅省人民政府(17:00~17:55) 出席者 張 吾 楽 甘肅省人民政府常務副省長 陳 綺 玲 甘肅省人民政府秘書長 程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任 曹 任 徳 甘肅省人民政府外事弁公室副主任 齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長 費 亜 夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長 孟 軍 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員 李 文 徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員
17:56	同上発	〃	
18:05	金城賓館着		甘肅省人民政府主催歓迎宴 金城賓館餐廳(18:30~20:30) 出席者 同 上

[金城賓館 泊]

第5日 8月7日(水)

(甘肅省蘭州市・敦煌市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
6:00	金城賓館発	乗用車	
7:00	蘭州空港着		
8:25	同上発	WH2203便	
11:50	敦煌空港着		嘉峪関空港にて給油・休息(10:45~11:05) 張志剛敦煌市人民政府市長ら出迎え
12:10	同上発	マイクロバス	
12:30	敦煌賓館着		
14:30	同上発	〃	
15:00	敦煌研究院着		敦煌研究院視察 出席者 段文傑 敦煌研究院院長 朱 洪 江 敦煌研究院職員 張 志 剛 敦煌市人民政府市長 李 生 甲 敦煌市人民政府外事弁公室主任 李 世 成 敦煌市人民政府外事弁公室接待部主任 程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任 齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市處處長
15:14	同上発	〃	
15:30	莫高窟着		莫高窟見学(朱洪江敦煌研究院職員説明)
17:40	同上発	〃	
18:15	敦煌賓館着		張志剛敦煌市人民政府市長主催歓迎宴 敦煌賓館餐廳(19:00~20:45) 出席者 張 志 剛 敦煌市人民政府市長 李 生 甲 敦煌市人民政府外事弁公室主任 李 世 成 敦煌市人民政府外事弁公室接待部主任 程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任 齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市处处长
21:00	同上発	〃	
21:10	鳴沙山・月牙泉着		鳴沙山・月牙泉見学
22:10	同上発	〃	
22:25	敦煌賓館着		

[敦煌賓館泊]

第6日 8月8日(木)

(甘肅省敦煌市・蘭州市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
9:38	敦煌賓館発	マイクロバス	
9:58	敦煌空港着		
10:55	同上発	WH2256便	張志剛敦煌市人民政府市長ら見送り
12:45	蘭州空港着		
13:35	同上発	乗用車	
14:35	黄河母親着		黄河母親見学
14:50	同上発	〃	
15:00	金城賓館着		
15:55	同上発	〃	
16:05	雁灘郷着		雁灘郷(農家・果樹園)視察
17:00	同上発	〃	
17:10	金城賓館着		
18:25	同上発	〃	
18:30	蘭州飯店着		賈志傑甘肅省人民政府省長主催歓迎宴 蘭州飯店餐廳(18:35~20:25) 出席者 賈志傑 甘肅省人民政府省長 孔令鑒 甘肅省人民政府副秘書長 程有清 甘肅省人民政府外事弁公室主任 齊宝玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長 費亜夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長 孟軍 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員 李文徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員
20:30	同上発	〃	
20:35	甘肅省歌舞団着		甘肅省歌舞団(梅加林団長)の公演観賞
22:10	同上発	〃	
22:16	金城賓館着		

[金城賓館泊]

第7日 8月9日(金)

(甘肅省蘭州市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
8:40 9:20	金城賓館発 蘭州化学工業公司着	乗用車	蘭州化学工業公司、同生活服務公司第一幼稚園視察 出席者 李明東 中国石化国際事業公司蘭化分公司總經理 黄毅密 中国石化国際事業公司蘭化分公司常務副總經理 葛維栄 中国石化国際事業公司蘭化分公司副總經理 程有清 甘肅省人民政府外事弁公室主任 齐宝玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市处处长 費亜夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長 李文徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員
13:22 13:30	同上発 蘭州第三毛紡織廠着	〃	蘭州第三毛紡織廠視察 出席者 任俊亭 蘭州第三毛紡織廠廠長 程有清 甘肅省人民政府外事弁公室主任 齐宝玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市处处长 費亜夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長 李文徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員
14:30 16:00	同上発 金城賓館着	〃	夕食(2階食堂 18:30~21:00) 出席者 程有清 甘肅省人民政府外事弁公室主任 齐宝玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市处处长 費亜夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長 李文徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員
21:30 21:35 22:15	同上発 蘭州駅着 同上発	〃 列車104次	程有清甘肅省人民政府外事弁公室主任ら見送り 西安へ

[列車104次 泊]

第8日 8月10日(土)

(陝西省西安市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
11:47	西安駅着	列車104次	蘭州より 秦元愷陝西省人民対外友好協会副会長ら出迎え
11:50	同上発	乗用車 マイクロバス	
12:10	金花飯店着		
14:00	同上発	〃	
14:45	陝西歴史博物館着		陝西歴史博物館見学 出席者 韓 偉 陝西歴史博物館副館長 秦元愷 陝西省人民対外友好協会副会長 劉立仁 陝西省人民対外友好協会副秘書長 劉建恵 陝西省人民対外友好協会職員
16:30	同上発	〃	
16:35	大雁塔着		大雁塔見学
16:55	同上発	〃	
17:00	青龍寺着		青龍寺、空海記念碑見学
17:55	同上発	〃	
18:00	徳発長着		夕食(徳発長・餃子宴 18:05~19:30) 出席者 秦元愷 陝西省人民対外友好協会副会長 劉立仁 陝西省人民対外友好協会副秘書長 劉建恵 陝西省人民対外友好協会職員
19:35	同上発	〃	
19:55	金花飯店着		

[金花飯店 泊]

第9日 8月11日(日)

(陝西省西安市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
9:20	金花館店発	乗用車 マイクロバス	
10:05	兵馬俑坑博物館着		秦始皇帝兵馬俑坑博物館見学
11:30	同 上 発	〃	
11:45	華清池着		華清池見学
12:15	同 上 発	〃	
12:40	万年飯店着		
13:55	同 上 発	〃	
14:00	興慶宮公園着		興慶宮公園、阿倍仲麻呂記念碑見学
14:15	同 上 発	〃	
14:20	吉備真備記念碑園着		吉備真備記念碑園見学
14:40	同 上 発	〃	
14:42	陝西省博物館着		陝西省博物館、西安碑林見学
15:15	同 上 発	〃	
15:25	西安城壁西門着		西安城壁西門見学
15:52	同 上 発	〃	
16:10	金花飯店着		
17:20	同 上 発	〃	
17:28	陝西省人民政府着		陝西省人民政府表敬訪問 陝西省人民政府(17:30~18:10) 出席者 孫 達 人 陝西省人民政府副省長 秦 元 愷 陝西省人民対外友好協会副会長 劉 立 仁 陝西省人民対外友好協会副秘書長 劉 建 惠 陝西省人民対外友好協会職員
18:12	同 上 発	〃	
18:18	人民大厦着		陝西省人民政府主催歓迎宴 人民大厦餐廳(18:20~20:00) 出席者 同 上
20:02	同 上 発	〃	
20:12	金花飯店着		

[金花飯店 泊]

第10日 8月12日(月)

(陝西省西安市、上海市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
6:40	金花飯店発	乗用車 マイクロバス	
7:05	西安空港着		秦元愷陝西省人民対外友好協会副会長ら見送り
7:55	同上発	WH2509便	
9:45	上海虹橋空港着		俞彭年上海市人民対外友好協会副会長ら出迎え
10:20	同上発	乗用車 マイクロバス	
11:00	錦江飯店着		
13:40	同上発	マイクロバス	
13:55	玉仏寺着		玉仏寺見学
14:20	同上発	〃	
17:10	錦江飯店着		
18:25	同上発	乗用車 マイクロバス	
18:29	新錦江飯店着		趙啓正上海市人民政府副市長会见 新錦江飯店会議室(18:30~19:08) 出席者 趙 啓 正 上海市人民政府副市長 趙 雲 俊 上海市人民対外友好協会会長 俞 彭 年 上海市人民対外友好協会副会長 鄭 玉 在 上海市人民対外友好協会常務理事、処長 蔡 伯 鴻 上海市人民対外友好協会理事、副処長 張 雪 娜 上海市人民対外友好協会理事、科長 姚 柏 生 文匯報主任記者 趙啓正上海市人民政府副市長主催歓迎宴 新錦市飯店白玉蘭庁(19:10~20:30) 出席者 同 上
20:35	同上発	徒 歩	
20:45	錦江飯店着		

[錦江飯店 泊]

第 11 日 8 月 13 日 (火)

(上海市)

時刻	発着地	交通機関	行 事
9:00	錦江飯店発	乗用車 マイクロバス	浦東新区視察 出席者 程 国 栄 上海市黄浦江大橋建設公司弁公室主任 俞 國 祥 上海市人民政府浦東開發弁公室開發管理处副処長 李 佳 能 上海市人民政府浦東開發弁公室開發管理处副主任 胡 季 威 上海市人民政府浦東開發弁公室開發管理处工程師 鄭 玉 在 上海市人民対外友好協会常務理事、処長 蔡 伯 鴻 上海市人民対外友好協会理事、副処長 張 雪 娜 上海市人民対外友好協会理事、科長
9:30	浦東新区着		
11:05	同 上 発	”	
11:45	上海西郊賓館着	”	全国知事会訪中代表团主催内答礼宴 上海西郊賓館 (12:00~13:30) 出席者 俞 彭 年 上海市人民対外友好協会副会長 鄭 玉 在 上海市人民対外友好協会常務理事、処長 蔡 伯 鴻 上海市人民対外友好協会理事、副処長 張 雪 娜 上海市人民対外友好協会理事、科長 許 金 平 中日友好協会理事 李 勁 松 中日友好協会職員
13:35	同 上 発	”	見送り 俞 彭 年 上海市人民対外友好協会副会長 鄭 玉 在 上海市人民対外友好協会常務理事、処長 蔡 伯 鴻 上海市人民対外友好協会理事、副処長 張 雪 娜 上海市人民対外友好協会理事、科長 許 金 平 中日友好協会理事 李 勁 松 中日友好協会職員
14:00	上海虹橋空港着		
14:50	同 上 発	JL796 便	
16:20	長崎国際空港着		解 散

5 中国における主要行事

(1) 孫平化中日友好協会会長主催歓迎宴

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 4 日 (日)

18 時～20 時 25 分

〔場 所〕 北京市 人民大会堂 北京庁

〔出席者〕 孫 平 化 中日友好協会会長

王 效 賢 中日友好協会副会長

陸 琪 中日友好協会理事

陳 永 昌 中日友好協会副秘書長

王 慶 英 中日友好協会理事

陳 兆 華 中日友好協会理事

許 金 平 中日友好協会理事

李 勁 松 中日友好協会職員

高 雲 中国人民対外友好協会友好城市弁公室主任

野 坂 康 夫 在中華人民共和国日本国大使館参事官

孫平化会長挨拶

尊敬する西尾邑次団長先生、第 4 次日本全国知事会訪中団の皆様、御在席の友人の皆様。

本日、私達はここで待ちに待った日本全国知事会訪中団の皆様方と一堂に会し、友情を語り合い、特にこのような多くの新しい友人と知り合う機会に恵まれたことを嬉しく思います。

私は、中日友好協会を代表して、西尾邑次先生を団長とする第 4 次日本全国知事会訪中代表団の皆様方の御来訪に対し、熱烈な歓迎の意を表します。

去年、白立忱寧夏回族自治区主席を団長とする第3次中国省長代表団が訪日した際に、貴会の心のこもった御接待を賜り、大きな成果を収めたことに對し、心から感謝を申し上げます。

中日友好協会と日本全国知事会は、1974年に友好関係を結んで以来、双方は既に3回ずつ代表団の相互派遣を行いました。本日、私達は又ここで友人の皆様方の御来訪を迎えることができ、誠に喜ばしいことであります。この相互訪問を通じて、我々の相互理解と友情を更に深めたばかりではなく、両国の地方政府間及び地域間の友好交流と協力のために積極的な役割を果たしてきました。これは中日友好関係を発展させる一つの重要なルートであり、これからも引き続き発展させるべきであります。

御承知のように、ここ数年来、中日両国の友好都市関係は大きな発展を見せました。今まで、既に122組の友好都市が締結され、中日両国民間往来の重要な部分となっております。

先日、吹田自治大臣が中国を訪問され、中日友好協会を訪れた際に、友好都市の活動を高く評価し、自治省が今後両国地方政府、また友好都市間の友好交流と協力を促進するために、努力すると表明されました。両国の地方政府、また人民の間の相互理解を絶えず深め、友情を増進し、各分野における交流と協力関係を幅広く発展させることは、長期安定の中日友好関係を築く上に、深い意義をもっているに違いないと信じております。

今回、訪中団の友人の皆様方は、北京に続いて蘭州、敦煌、西安、上海へと訪問の途につかれると伺っていますが、都市建設、行政管理、教育発展など諸分野において、豊かな経験をもっておられる皆様ですから、御參觀訪問中、多くの貴重な御意見を出されるよう期待してやみません。

終わりに、中日両国の友好関係の一層大きな発展のために、中日友好協会と日本全国知事会との友情を絶え間なく深めるために、第4次全国知事会訪中団の訪問の御成功のために、西尾邑次団長先生と訪中団の皆様方の御健康のために、並びに御在席の友人の皆様方の御健康のために、乾杯を提案したいと思います。 乾杯！！

西尾団長挨拶

尊敬する中日友好協会会長孫平化先生、尊敬する王效賢先生、そして御来会の親愛なる友人の皆様。

まずもって私は、我々第4次全国知事会訪中代表団が中日友好協会の御懇篤なお招きにより、この良い季節に中国を友好訪問することができましたことにつきまして、心からお礼を申し上げるものでございます。

しかしながら、時あたかも「寂寂長江萬里流」と昔の詩人が詠みましたその長江の大氾濫により、今18省にわたって被害が広がっていると伺っております。新中国誕生以来の最大のこの激甚な大被害に遭われまして、救助・救済支援、復旧再建などの対策は想像を絶する難事であり、完全復興までには長い時間を要するものと存じます。国及び関係省の省長さん方のこれからの御労苦に対し深い御同情の念を禁じ得ませんと同時に、被災されました皆様方に心からお見舞いを申し上げたいと存じます。

この隣国、友人の苦しみに対しまして私どもの気持ちを何とかお示しできればと、団員一同話し合ひまして、心ばかりですがお見舞いの金員を御贈呈申し上げますことといたしました。旅先のことであり、誠に些少ではありますが、私どもの気持ちをお汲み取り頂き、孫平化先生にしかるべき方面への御伝達

の労をお願い申し上げたいと存じます。

さて、全国知事会は中日友好協会と深い友好交流関係にありまして、1972年の日中国交回復の翌々年には第1次の知事団が訪中させて頂いております。昨年10月には、白立忱寧夏回族自治区主席を団長とされます省長団を日本にお迎えしましたが、日本の県知事とお国の省長との交流、相互訪問は今回で延べ7回目を数えるに至っております。この間、県・省間の友好提携は25を数えるようになって参りました。これひとえに貴協会の活動の御成果と深甚なる敬意を払うものであります。

先月開かれました全国知事会議の席上、中国から帰られたばかりの吹田自治大臣から、友好提携の発展に対する孫平化先生の御熱意が披露され、私達は感銘深く拝聴いたしたところでありました。今後、更に県と省との友好の輪が広がり、深まることを期待しております。

なお、このような御活動の一助ともなればと思ひ、日本の都道府県で作成しております県勢紹介の最近の資料を取り寄せ用意して参りました。二組ございますので、貴中日友好協会、中国人民対外友好協会の関係部門の業務のお役に立てて頂くなら、幸いです。

本年は、竹下元総理の提唱によります中国青年250名の日本への御招待が実現し、私ども関係都道府県でも明日の中国を担うこれら青年を歓迎し、お世話申し上げる予定となっております。

更に、明年は日中国交正常化20周年を記念して、多くの行事が両国間で行われることと存じます。

そのうち、先に御来日の王效賢副会長からお話のあったこととして、今回団の一員として参っております砂子田事務総長から、同じく7月の全国知事

会議で全知事に紹介され協力要請がありました、中国での植樹・緑化運動、友好都市親善卓球カーニバルのお話は、誠に時宜を得た良い御企画と存じますので、各知事とも全面的に御協力申し上げることといたしております。

特に植樹につきましては、当面の大災害の問題とともにこの100年の計、植樹への協力に多大の関心を払っておりますので、相応しい樹木のことや実際の手続き、実行方法などについてのお考えを、明年といわず早速お示し頂ければと存じております。

さて、世界の動静が目まぐるしい今日、日中両国の友好関係を一層発展させることは、アジアと世界の平和を守る上で、両国の役割は実に大きいものがあります。我々両国は、一時の不幸はありましたが、隋、唐の昔から今日に至るまで、また未来永劫にわたりまして、深く親しいそして悠々としたゆるぎのない善隣と協調の間柄を保って参らなければなりません。私どもといたしましても現在できるだけの御協力をして参る所存であります。そして、両国の若者の手になる苗木、若木がしっかり大地にそして心の中に根を下し、豊かな緑とたわわな実を結び、将来ともに繁栄の途を歩んで参ることを強く願ってやみません。

本日は、日曜日にもかかわりませず、我々のためにこのような盛大な歓迎宴を催して頂き、誠に光栄でございます。孫平化先生をはじめ協会の皆様、関係者の皆様のお手配によりまして意義深い北京滞在、地方視察のできますことを心から感謝申し上げます。

では、ここで御主人側の盃を拝借いたしまして、孫平化先生をはじめ満堂の皆様の益々の御健康と中日友好協会及び皆様関係機関の御発展を祝し、杯を挙げたいと思います。日中友好万歳。 乾杯！！

(2) 李瑞環中国共産党中央政治局常務委員との会見

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 5 日 (月)

9 時～10 時

〔場 所〕 北京市 人民大会堂 福建庁

〔出席者〕 李 瑞 環 中国共産党中央政治局常務委員

孫 平 化 中日友好協会会長

王 效 賢 中日友好協会副会長

陸 琪 中日友好協会理事

王 慶 英 中日友好協会理事

許 金 平 中日友好協会理事

李 勁 松 中日友好協会職員

野 坂 康 夫 在中華人民共和国日本国大使館参事官

李瑞環常務委員挨拶

第 4 次日本全国知事会訪中代表団の皆様。

中国では、1991 年 6 月以来、18 の省・自治区・直轄市で水害が発生し、国際社会に緊急救済援助を呼びかけました。今回の水害では、特に安徽、江蘇両省の水害がひどく、人民の生命と財産は激甚な被害を受けました。このような危難な時期に当たりまして、貴訪中代表団は被災地区人民の苦境を乗り越えるために援助の手を差し伸べられ、心のこもった寄付をされました。私は、中国を代表して、衷心より感謝の意を申し上げます。

この度の、第 4 次日本全国知事会代表団の訪中を心から歓迎いたします。1974 年に中日友好協会と日本全国知事会とが友好関係を結んで以来、双方

は既に3回ずつの代表団の相互往来を行っていると同っております。

中日友好協会と日本全国知事会とは、このような親しい関係を結んで以来、相互の友好往来は両国人民間の相互理解と友情の増進に役立つようになりました。友好省県・都市を結んだことで、相互の経済、科学技術その他の分野において大いに交流を深めることができますし、両国人民の恒久的な利益にも合致するものと考えられます。

この代表団の中には、既に中国を訪問された方が数多くおられます。また、はじめて我が国を訪問された方もおられます。私は、知事をもって編成された代表団と、はじめて、この人民大会堂で接しますけれども、皆様の率直な御意見をお聞きしたいと思っております。

西尾団長挨拶

一言お礼を申し上げたいと思います。私達全国知事会の中国訪問団は、中日友好協会の皆様方のお蔭をもって、こうして訪れることができました。非常に嬉しく思います。そして、只今は李瑞環先生にお会いできて、非常に光栄に存じております。

まず、長江が大氾濫し、被害が広がっていると伺っております。新中国誕生以来の大被害に遭われまして、救助・救済支援、復旧再建などの対策は想像を絶する難事であり、完全復興までには長い時間を要するものと存じます。心からお見舞いを申し上げたいと存じます。

それから、中国と日本との友好提携が段々と深まって参り、現在、日本の24都府県、市町村を含めれば120組位が友好提携を結んでいると思われます。今後更に県と省・市との友好の輪が広がり、絆が強くなることを願っております。

ます。

世界の動静が目まぐるしい今日、アジアでの中国と日本との役割は、これからの世界の平和あるいは両国の繁栄を考えてみますと、いつまでも重要なことでもあります。これから子々孫々に至るまで、未来永劫にわたり、深く親しい悠々としたゆるぎのない善隣と協調の間柄を保ちながら、両国の国民がますます繁栄することを心から願っております。

李瑞環常務委員

私どもの災害に対して関心を寄せられたことに感謝申し上げます。今回発生した水の災害は、近年にない大きなものです。中国の雨季から言いますと、また今までの経験から言いますと、中国の雨期はまだ過ぎ去っておりません。この雨期は大体8月中旬頃まで続きます。

我々の大きな心配は、揚子江流域と黄河流域のこの二つの流域の水のことです。黄河流域は、大きな水害にはまだ見舞われておりませんが、今回の揚子江の水害は、この100年来余り見られない大きな災害です。毎日の水の流量は100億立方メートルです。黄河は揚子江に比べ流量は少ないですが、砂や泥が多く、水が多くなりますと川の道筋を変えてしまいます。黄河の兩岸には数百万の人が住んでおりますので、揚子江のように整理された水の流れていく道ができていなければなりません。今回の水害がもたらした被害は大変大きく、被害の数字が毎日変わっております。

今回の水害の状況を公表した結果、国際的に非常に大きな反響を呼びました。国際社会から被災地区人民へ送られた援助は、中国人民と世界人民との友情を深めましたと同時にまた、被災地区人民の抗災救災活動と故郷を復旧

再建する信念と士気が鼓舞されました。そして、今回の水害に直面して、この問題を根本的に解決するために、中国人民は自力更生・刻苦奮闘の精神を発揚し、水害によってもたらされた困難を克服するとともに、真剣に経験を総括し、水利工事をおこし、努力して河川、湖、海を立派に、力を込めて治めていかなければなりません。今回の自然災害は大変不幸なことではありましたが、いい結果をもたらすように努力しております。

西尾団長

大変広大なお国ですから、これから再建・復旧に取り組むには本当に大変な困難が予想されますけれども、どうか立派に復旧されて、国民の皆様が安心して生業につけるように、そしてこれからも更に将来に向けての対策が立派に講ぜられますことを、心からお祈りいたしております。

一つ、お聞きしたいことがあります。日本は今、子供の出生率が非常に低く、日本の将来の活力というものが失われるのではないかと、非常に心配しております。しかし、お国では逆に人口がどんどん増えてきている。人口増に対する食糧の自給政策がどういうことになっているのか、お聞かせ願いたいと思います。

李瑞環常務委員

今、日本では出生率が減少していることをお聞きしまして、私どもの立場からは喜んでおります。と申しますのは、お国は相対的には国土が狭く、人口の密度が高いと思います。

中国が直面している人口と資源、あるいは人口と食糧の問題は、これから

長期にわたって研究・解決しなければならない課題です。中国では大変多い人口を抱えていますので、中国の様々な製品は、生産量から見ますと、世界経済のトップを走っていますけれども、人口で割って見ますと、平均値はレベルダウンしてしまいます。

中国は今、食糧を多く貯蔵しておりますので、今回、水害には見舞われましたけれども、食糧飢饉にはなりません。しかし、水害による2億の被災地区人民が、その食糧や医薬品を持っているだけでも、災害地への輸送には大変な困難があります。

現在、中国の農業は大きく発展しており、割合豊かな食生活を確保しております。中国は世界の6%しかない耕地面積をもって、世界総人口の22%を養っております。しかし、まだ中国の人口は増えつつありますし、土地も成長しております。したがって、中国の出生計画は、中国の基本政策であり、国策とも言うべきものでございます。

農業の食糧生産に関して、私個人の体験から申し上げます。中国の建国初期においては、黄河流域では、1ムー（畝=6.6アール）当たりの生産高について言えば、200キロの生産量があれば良い。揚子江流域では、400キロの生産量があれば良い。とその当時は思っておりました。しかし今は、黒龍江省という寒い地域でも、1ムー当たりの生産高は400キロになっております。現在、水害に見舞われている浙江省では、1ムー当たり1,000キロを生産している地域も数少なくありません。この間、私は雲南省の大理に参りましたが、大理は海拔のかなり高い所で、日照時間が長く、また水が豊富な場所で、1ムー当たり既に1,500キロの収穫量があります。したがって、中国はまだ農業発展の潜在力があると思います。勿論、まだ未耕作の土地もあり

ます。谷も山もうまく土地を活かす課題があります。

浙江省の人口一人当たりの土地面積は、約 300 平方メートルしかありません。しかし、浙江省は自分の人口を十分に養えるばかりではなく、さらに一部を貯蔵しております。皆さんは多分御承知のことと思いますけれども、西湖の竜井茶をはじめ、生産性も高く品質も優れたお茶が栽培され、生産量は全国一です。また桑も多く栽培され、中国の絹の里と言われております。実際に行ってみて頂ければお分かりになると思いますが、誠にうまく整備され、住宅の前後や屋上にも食糧になる作物を植えております。それでも、潜在力を全部発揮し尽くしたとは、私は到底思っておりません。中国の農業は、まだ潜在力があると思います。

中国ではここ 10 年余り、「一組の夫婦に子供は一人を提唱する」と言う、いわゆる「一人っ子政策」が続けられてきました。人口抑制策ですが、この 10 年間は年平均して 1,600 万人から 1,700 万人も人口が増加しております。この人口増は、この間激しく抵抗したイラクの全人口に当たるわけです。つまり 1 年でイラクの国に等しい人口が増えているわけです。また、台湾もそれとほぼ同じ人口で、もし、この 1 年分の人口増を台湾に持って行きますと、台湾の経済は持ちこたえられないのではないかと思います。毎年この 1,500 万人以上もの人口の増加の為に、追加の食糧を確保しなければなりません。しかし、このことは外国の方々にもよく御説明しておりますけれども、中国ではなぜ衣食が足りているかと申しますと、やはり経済が大きな役割を果たしておるからでございます。自然災害にも毎年見舞われるわけではありませんが、計画をうまく策定し、うまく実施しなければ、この国は成り立たなくなります。

中国の人口計画は、安定しておりますけれども、この計画出産政策は、これからも強化しなければなりません。現在の政策は、我が国の国情により、ある一定期間やむなく取らざるを得ない選択です。都市部や都市近郊の経済の比較的発展した農村では成功を収めておりますが、広大な農村では同じように政策を理解してもらうには違った困難もあります。人口規制の着眼点は末端、特に広大な農村に置かなければなりません。今後、かなり長期にわたって計画出産の重点を農村に置くこととなりますが、解決が難しいのもまた農村部であります。各級の指導部は農村の計画出産政策に力を入れる必要があります。

近年、この家族計画の間隙を狙って、子供をものすごく生むという現象が現れました。例えば、売買を利用するとか、少数民族の保護・優遇策を利用するとか。そうしますと、子供が増えることに対し、積極的に取り組む必要があります。これから本当に研究する必要がある問題です。まだまだ多くの仕事をしなければなりません。口先の責任とか、あるいは計画出産条例の制定、その他のことだけでは不十分であり、具体的な措置を講じなければなりません。

西尾団長

ありがとうございました。時間も余りありませんから大変申し訳ありませんが、私一人の素人の考えで御提案申し上げたいと思います。

農業の生産が段々上がってきたということは、非常に結構なことで、お喜び申し上げたいと思います。私が5年前に河北省を訪ねた時と昨年河北省を訪ねた時に、農業の灌漑用水は地下水を汲み揚げて利用していました。この

5年間で地下水の水位がかなり下がっておりました。これからは、農業用水をどのように活用するかが大変な問題となろうと思います。そこで、たくさん流れている黄河の水を灌漑用水に活用することが必要になってくるのではないかと思います。

李瑞環常務委員

お気持ちは十分理解できます。河北省地域全体で水が不足しています。今、中国は南方の水を北の方に持って行くという長期計画を立てています。一つは、揚子江の水をダムを利用して河北省へ持って行く方法。もう一つは、黄河の水を河北省に持って行くという計画でございます。

中国では、黄河の水を利用して農地を灌漑する方法は勿論考えておりますが、御承知のように黄河の水には泥と砂が大変多く含まれております。流れの一番激しい時の黄河は、1立方メートル当たり100～300キロの泥と砂を運んできます。私が天津市長になった頃は、やはり水に悩まされまして、黄河の水を利用することにいたしました。当時1立方メートルの水の中には、100キロの泥とか砂が入ってきました。天津辺りでは、地面が低いので水を引くのはそう難しくありませんけれども、黄河の泥と砂の対策をうまく措置しなければなりません。山東省では今、黄河の泥とか砂でもって埋立てをしているところです。まだ考えているところですが、河南省の中にダムを造るとか、上流の地域で治水事業を行うとか、緑化運動を進めるとか、要するに黄河の水を河北省に持って行くことは、なかなか困難なことであります。また、揚子江の水を河北省に持って来るのは、若干の川を掘らなければなりませんし、もっと困難だと見ておりますので、何か良い方法を講じなければなりません。

私は専門家ではありませんけれども、水対策に関しては大変興味を持っております。私の考えていることを、三つ挙げることができます。まず、一番目は、徹底的に揚子江を治めることです。そして、それとともに河北の用水をうまく処理すること。つまり河北の水を工業用水に多く使う企業を揚子江の近くに移すことです。これは中国政府の目標ですから、移すのはそう難しくはないと思います。例えば、製紙工場1カ所で、年に数億立方メートルの水を使います。その数億立方メートルというのは、北京市の住民の1年分の水使用量に当たります。二番目に考えている事は、水を他の地域から持って来ることです。それは、南の方から北へ持って来るよりも、東から持って来ることです。例えば、吉林省の山の奥深い所から水を引いて来ることです。工事は大変だが可能ではないかと思えます。三番目は、河北地域にある工業、農業が如何に水の節約に努力するかということです。例えば、工業用水を循環利用するとか、あるいは汚水を再処理するとか、色々工夫できることが多いのではないかと思います。以上申し上げましたことは、私個人の考えでございます。

西尾団長

私も素人の考えを申し上げましたが、水を治めるものは国を治めると言われております。これからの御成功をお祈りいたします。

現在、鳥取県と河北省は、昭和61年度から進めてきた農業交流を更に発展させるため、河北省石家荘市に農業技術の今後の交流の拠点となる友好農業試験場を平成3年度の5周年記念事業として建設中であります。記念事業としてナシ、リンゴ、ブドウ、カキなど8品目・60品種の苗木を提供し、植

栽する果樹の種の資源研究や利用、ナシの灌漑試験、イチゴ・ブドウの促成栽培試験等の研究開発に取り組むことになっております。私は、この友好農業試験場建設事業の成功を祈っております。

大変貴重な時間を頂きまして、ありがとうございました。どうか、これからも御健闘をお祈りいたしております。

(3) 全国知事会訪中代表团主催答礼宴

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 5 日 (月)

12 時～14 時 25 分

〔場 所〕 北京市 北京貴賓樓飯店 紫金庁

〔出席者〕 孫 平 化 中日友好協会会長

黄 世 明 中日友好協会副会長

王 效 賢 中日友好協会副会長

陸 琪 中日友好協会理事

陳 永 昌 中日友好協会副秘書長

陳 兆 華 中日友好協会理事

鮑 延 明 中日友好協会理事

王 雲 涛 中日友好協会理事

許 金 平 中日友好協会理事

馬 玉 華 中日友好協会職員

関 湧 中日友好協会職員

李 勁 松 中日友好協会職員

韓 崇 柱 中国人民对外友好協会財務處處長

高 雲 中国人民对外友好協会友好城市弁公室主任

何 及 鋒 中国人民对外友好協会友好城市弁公室副主任

袁 光 中国人民对外友好協会儀典係

彭 瑞 聰 北京医科大学校務委員会主席

強 正 富 北京医科大学外事處處長

野 坂 康 夫 在中華人民共和国日本国大使館参事官

西尾団長挨拶

一言御挨拶申し上げます。

尊敬する孫平化先生、尊敬する黄世明先生、尊敬する王效賢先生、日本国大使館野坂参事官並びに御臨席の友人の皆様。

本日は、皆様お忙しい中にもかかわらず、御来駕下さいましたことを心から厚くお礼申し上げます。この小宴は、私どもをお招き下さいました孫平化先生並びにこの3日間、しかもそのうち2日間は土曜日、日曜日でもありましたが、何かとお世話になりました中日友好協会の皆さん及び関係の友人の皆様に対するささやかなお礼の気持ちでございます。どうか、お時間の許します限り御歓談頂ければ幸せでございます。

今回の訪中につきましては、孫平化先生の深い御配慮を体されました副会長をはじめ協会の皆様方が、綿密な計画に基づいて関係方面との御連携をはじめ、周到な御準備によって実に万全な滞在日程をお立て下さいました。

そして、ここ北京では、皆様御多忙の中を、空港お出迎えとお世話をはじめ、滞在中御懇篤な御接遇、献身的な御案内を頂きまして、誠に順調に、実り多い交流、そして古い北京と北京の新しい進展躍進の姿に接することができ、私ども一同有難く存じておるものでございます。

先程は、中国共産党中央政治局常務委員李瑞環先生に表敬の機会を頂き、貴重なお話を伺うことができました。衷心より厚くお礼を申し上げたいと存じます。

また、私どもの最も喜びとするところは、お蔭様で古い友人に再会できた上に、多くの新しい友人を得ることができたことでございます。孫平化先生並びに関係者の皆様にただただ心からの感謝を申し上げる次第でございます。

日程では、明日から蘭州、敦煌、西安、上海へ参ることとなっております。折しも長江大水害の最中でございます。色々な意味で御迷惑をおかけするのではと、大変気にかかっているというのが偽らざる心境でございます。しかし、計画に従い御案内頂きます際には、各地で十分に相互理解の実を挙げ、日中友好の絆をさらに強めるよう努めて参る所存であります。

さて、私ども全国知事会では、日中友好親善の更なる進展と両国地方行政指導者の交流の継続を希って、来る 1993 年の御都合のいい時期に中国省長団を日本に御招待申し上げたいと考えております。この機会をお借りいたしまして、この旨謹んで御伝達させて頂きたいと存じます。

では、ここで孫平化先生をはじめ御来臨の皆々様の御健勝と中日友好協会、そして御関係の機関・部門の益々の御発展、そして我々の再会の日の近からんことを衷心からお祈りをしまして、乾杯いたしたいと存じます。 乾杯！！

孫平化会長挨拶

まず、私は、中日友好協会並びに御在席の中国の同志を代表しまして、本日、皆様方のかくも盛大な答礼宴を催して頂いたことに対して、心から感謝を申し上げます。

中日友好協会と日本全国知事会との間に、相互訪問及び長期の友好交流関係が結ばれていることに対し、心から感謝し喜んでおります。中日友好協会事務局と日本全国知事会事務局との間には、密接な関係が結ばれております。このような、中日両国の地方政府並びに知事間の友好交流関係は、大変我が国にプラスになると思います。また、中国の各地方政府も友好交流を高く評価しております。

このような友好交流を振り返って見ますと、これは中日国交正常化以来はじまったものでありますが、国交回復以前には両国の地方政府、また日本の全国知事会との間に交流はありましたけれども、まだ少ないものでありました。このように、友好交流関係は中日国交回復後の十数年間に大きな発展を遂げました。そして、今までの都市間の友好関係を含めると、もう 122 組に達しております。中日両国の友好交流は、各地において花を咲かせ実を結んでおります。

先般、吹田自治大臣が我が国を訪問され、中国の指導者李鵬首相とも会われました。双方は中日両国間の友好都市関係、そして地方政府間の友好交流について高く評価し、友好交流を支援すると表明されました。

来年は、中日国交正常化 20 周年を迎える年であります。中日両国政府の支援のもとに、両国の地方政府並びに友好都市間のこのような友好交流関係が大いに発展できますことを期待しております。

明日、皆様は引き続き西北の敦煌へ旅行なさいます。甘肅省及び蘭州市は、お国の秋田県及び秋田市と友好関係を結んでおります。しかし、我々の西北地域においては、まだお国との友好都市の数はとても少ない。敦煌は既に市に昇格しておりますけれども、まだ、お国とは友好都市を持っておりません。敦煌市はお国に恋愛の相手を捜して、友好関係を樹立したいと思っております。そして、当中日友好協会は友好都市の仲人になりたいと思っております。しかし、まだ適当な相手が見つかりません。全国知事会並びに御在席の友人の皆様方が、御紹介頂ければ大変ありがたいと思っております。

終わりに、御主人側の杯を拝借して、中日友好協会と全国知事会の友好関係が絶え間ない発展を遂げるために、中日間の友好都市の活動がますます活

発になるために、西尾先生をはじめとする御在席の日本の友人の皆様方が御健勝で快適な旅ができるために、御在席の友人の皆様方と野坂参事官先生の御健康のために、御在席の友人の皆さん、同志の皆さん、乾杯をしたいと思います。 乾杯！！

(4) 北京医科大学視察

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 5 日 (月)

15 時 10 分～16 時 15 分

〔場 所〕 北京市 北京医科大学

〔出席者〕 彭 瑞 聰 北京医科大学校務委員会主席

劉 世 傑 北京医科大学公共衛生学院名誉院長、教授

王 繼 山 北京医科大学第三臨床医学院院長、教授

強 正 富 北京医科大学外事處處長

彭瑞聰校務委員会主席説明

北京医科大学は、1979 年から日本の自治医科大学（中尾喜久学長）と学術交流を実施しております。中尾学長は北京医科大学の名誉教授です。簡単に校史と現状を御紹介いたします。

北京医科大学は、1912 年 10 月 26 日に創設され、中国が自力で開設した最初の国立医科学校です。前身は国立北京医科専門学校です。1924 年 1 月に国立北京大学医学院、1927 年に国立京師大学堂医科、翌年また国立北平大学医学院と改名され、1946 年北京大学に編入されて北京大学医学院と称し、1950 年に独立して建院され、1952 年 12 月に独立して北京医学院となり、1959 年全国重点学校に列せられ、1984 年 4 月、国家が第一次全国重点建設大学に列することを批准し、1985 年 5 月 14 日に北京医科大学と改名いたしました。

北京医科大学の校風は、不動かつ正しい政治方向、謹厳求真的な勉学態度、真摯かつ献身的な服務精神です。北京医科大学の学風は、勤勉、謹厳、求真、

創新です。

北京医科大学は、多くの学科、多くの専門を持つ高度の総合医科大学であるとともに全国重点学校の一つであり、大学本科・専門科教育、研究生教育、継続教育の三つの教育路線を持っております。教育の目標は、社会主義的自覚を持つ優秀な医・薬・衛生の人材を養成することです。

北京医科大学のうちの 11 学科は、国家教育委員会により高等学校医学重点学科との批准を受けています。それは、生理学、病理学、組織発生学、生物物理学、薬学、運動医学、麻酔学、産婦人科学、小児科学、泌尿器科学、口腔病理学です。

北京医科大学の下に、7 学院、2 系、1 部が設置されています。それは、基礎医学院、薬学院、公共衛生学院、第一、第二、第三臨床医学院、口腔医学院、精神衛生学系（第六医院）、看護系、また、社会科学人文科学教学部、四つの教学医院と一つの中級衛生学校、そして代管北京市癌治療研究所です。博士号を授与する学科が 28 あり、博士指導教官は 103 名、51 の修士号授与学科、642 名の修士指導教官、12 の本科、6 の専門科、また 17 の研究所、11 の研究センター、一つの家級開放実験室（天然薬物実験室）、一つの衛生部級実験室（心肺内分泌実験室）、四つの博士人員科研巡回所（基礎医学、薬学、公共衛生と予防医学、末期医学）があります。また、大学は毎年国家と衛生部の研究課題を 200 以上を引き受けています。

1978 年以降、北京医科大学は 255 の重要な科学技術成果賞を獲得しました。市級の重要科学技術賞を 145、部・委員会級の重要科学技術成果賞を 98、国家級の重要科学技術成果賞を 12 です。

北京医科大学は全国重点学校の一つであり、国家のため優秀な医薬衛生の

人材を養成する責務を負っています。長年の間、北京医科大学党委員会は教官の組織を非常に重視し、指導者の育成に努めてきました。その結果、一連の著名な学者、教授、専門家が輩出しました。病理学の林振剛、生物化学の劉思職、組織発生学の馬文昭、神経解剖学の王玉詮、眼科学の畢華徳、口腔正歯学の毛變均、皮膚性病学の胡傳揆、内科学の王叔咸、薬学の薛肅などがいます。

北京医科大学には優れた教官組織があり、教授 486 人、助教授 564 人、専門研究員 657 人がいます。彼らは医療、教育、研究において第一線で活躍中のベテランの専門家、教授であり、例えば生理学の王志均、生物化学の張昌穎、骨科学の馮傳漢、口腔病理学の鄭蕃、労働衛生学の劉世傑、骨科専門の曲綿域、神経生理学の韓濟生、小児衛生学の叶恭紹などがいます。ベテランの医学専門家以外でも中青年の教授が学界で活躍しており、医療、教育、科学研究の水準を上げて医療衛生事業を発展させ、ひいては世界の先進的水準を超えるために無私の貢献をしています。

北京医科大学は、長い歴史を持つと同時に若々しい活力に満ちた高等教育機関であり、この 80 年間絶えず新しいものを創り発展を続けてきたことは、国内でその名を高めただけでなく、海外にもある程度の影響を与えました。約 10,000 人の教職員は、我が校の校風を継承し、高め、祖国のためより多くの優秀な医薬衛生の人材を養成することを決意しております。

北京医科大学は、建学以来 23,106 人の卒業生を養成しました。解放前の 37 年間の卒業生は 1,069 人、解放後 42 年間の卒業生は 160 人の外国人留学生を含め 20,073 人です。そのうち博士が 212 人、修士 857 人、研究生 29 人、本科卒業生 16,837 人、専門科卒業生 1,781 人、夜間大学生 357 人です。そ

して、中専生が 1,964 人です。

北京医科大学の 1991 年現在の在校生数は 4,937 人であります。

内訳	1. 研 究 生	675 人
	うち 博士生	217 人
	修士生	456 人
	研究生	2 人
	2. 本 科 生	2,993 人
		(留学生 74 人を含む。)
	3. 専 門 科 生	341 人
	4. 夜間大学生	356 人
	5. 中 専 生	572 人
	6. 進 修 生	毎年 860 余人を数える。
		(未計上の在校生 4,930 人中。)

北京医科大学の教職員は 10,048 人、そのうち本部の教職員が 2,834 人、各医院を合わせて 7,214 人います。全校教職員のうち 1,208 人は上級の専門技術職務についており、1,760 人は中級の専門技術職務、4,442 人は初級の専門技術職務についています。行政幹部は 573 人、労働人員は 1,695 人、その他の人員が 370 人です。そのうち教師は 3,289 人おります。

内訳	1. 教 授	486 人
	助 教 授	564 人
	講 師	964 人
	助 教 師	1,275 人
	2. 研 究 員	657 人

北京医科大学の病床数は、第一医院 1,133 床、人民医院 754 床、第三医院 716 床、口腔医院 100 床、第六医院 100 床、合計で 2,803 床があります。

[質疑応答]

問 現在、中国の医師の需要と供給はどうか。

答 大学を卒業した医師一人当たりには換算すると、人口 1,000 人となります。特に広大な農村地域では絶対的に医師不足です。

問 医師の個人営業はどうか。

答 少ない。今迄に大体 16 万人が自分で開業しております。中国の病院は、以前はすべて公立でした。しかし最近では、北京や上海などで個人開業している例が多くなっています。

問 医療費の支払いはどういう仕組みか。

答 中国では、公務員と大学生は公費医療の対象となっています。本人の場合、受付料を除いて全額給付されます。ただし家族は自費医療となります。都市労働者については労働保険医療制度があり、受付料を除いて全額給付されます。家族は半額程度給付されます。人口の大部分を占める農民については医療保険制度がなく、自費医療です。

問 中国では看護婦の充足率が非常に悪く、完全看護はなかなかできない。だから重い病気になると家族が病院に来て、病人の付き添いをしてやらなければならない。中国では日本と同じように 3K の状況があり、なかなか看護婦の希望者がいないと聞いている。やはりそういう状況か。

答 中国の看護婦は、医師に比べて少ないです。世界中でも他の国ではこういうことはありません。少なくとも、看護婦が不足しているとはいっても、

看護婦は医師よりは多いと思います。

また、普通の病院に入院する場合には、家族の付き添いがないと困ります。しかし、大きい病院では、たくさんの家族が付き添いに来られると管理上非常に困ります。

北京医科大学では、重病の場合以外は家族の付き添いは認めておりません。小児科の場合は、如何なる時も付き添いは認めません。

問 中国医学にはソ連の医学システムが入っていると伺っているが、その理由は。

答 1950年代にソ連の医学専門家が、中国に大勢来ています。

問 ハリ（鍼）は教えているか。

答 普通のハリは医学生に教えています。ただし、鍼灸については、鍼灸学院という専門学校を中国が設立して、鍼灸理論の講義や臨床実習を行っております。

(5) 甘肅省博物館見学

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 6 日 (火)

13 時 45 分～16 時 10 分

〔場 所〕 甘肅省蘭州市 甘肅省博物館

〔出席者〕 初 世 賓 甘肅省博物館館長

時 俊 蘭 甘肅省博物館職員

程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任

斉 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長

費 亜 夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長

李 文 徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員

初世賓館長説明

第 4 次全国知事会訪中代表団を熱烈に歓迎いたします。本日は、甘肅省で一番大きい博物館を御案内いたします。

甘肅省博物館は、総合的な地誌博物館で、1956 年に創立しました。その前身は甘肅科学教育館と称し、1936 年に管理中英庚款理事会が蘭州市に設立することを決定し、2 年間の準備期間を経て 1939 年に正式にオープンし、1943 年に名称を国立甘肅科学教育館に改めています。新中国成立後は、人民政府が管理に当たり、西北人民科学館と改称、さらに 1956 年には名称を甘肅省博物館に改め、新館を建築することになりました。1958 年、蘭州市七里河に移転しましたが、新館の構造は全体が「山」形を呈し、正面中央部が 5 階、その左右が 3 階建てで、偉容を誇る建築であります。総床面積 18,000 平方メートル以上、そのうち 13,000 平方メートル余りが展示面積

です。館内には展示大ホール 13 室、講演ホール 1 室、休憩室 12 室を設けております。

甘肅省博物館の組織機構は、歴史部・自然部・社会主義建設部・群衆工作部・技術部・文物複製工場・弁事室（総務部）などの各部門に分かれ、職員・工員合わせて 130 名、そのうち 3 分の 2 は業務人員で占め、高級職 15 名、中級職 23 名、初級職 27 名であります。

甘肅省博物館の収蔵品は豊富多彩で、歴史文物・革命文物・民族文物・自然標本などを含め 8 万点あります。そのうち 3 分の 2 は歴史文物です。中でも新石器時代各類型彩陶、漢時代文物（木簡、木彫り、銅奔馬など）、五胡十六国時代から唐時代までの仏像や写経などは、本館収蔵品の三大特質を構成しています。本館に保存されている第一級文物（国宝級）は 150 点を超えますが、その中には次の文物が含まれます。まず、古拙な造形、多彩な紋様が施された甘肅彩陶で、原始文化の至宝とされています。次に武威雷台漢墓で出土した銅車馬儀仗隊です。造形、表情などあらゆる面で生き生きとして特に世に名高い銅奔馬は、四脚で宙を蹴り、尾を立て、首を上げ雄壮に嘶いて疾走しつつ、なお右足をそっと飛鳥の背に触れている姿で作られています。これは造形芸術、力学などすべての面で高い水準に達していたことを表しています。漢方医薬簡も第一級文物です。臨床学・医学・薬物学・鍼灸学・病理学・治療・処方などについて詳しく記述した簡は、科学的に見て高い価値があります。北宋淳化 2 年（A. D. 991）「報父母恩重経」画は、長さ 182 センチ、幅 127 センチの大作で、画面中央に説法図、その左右に経変話図が描かれていますが、特に珍しいのは下の方に北宋淳化 2 年と年号が表記されていることで、まれに見る珍品です。自然標本中で貴重な収蔵品に、中

国独特の動物、パンダ、コバナテングザル、タンチョウヅルなどが含まれています。

本館は現在、4,000平方メートル余りを用いて、4部門に分けた大型常設展示を行っていますが、参観者は、毎年、国内外を含めると20万人を超えております。次に、その中の3部門を御説明いたします。

「甘肅歴史文物展」は、新中国成立以来、甘肅省内で出土した歴史文物1,500件余りを展示し、甘肅の歴史発展概況を系統的に反映すると同時に、特に甘肅新石器時代の各文化に属する彩陶、シルクロードの要路である河西回廊で出土した漢・唐文物、五胡十六国時代から隋・唐時代までの仏教芸術と写経など東西文化交流にかかわる実物に重点をおき展示しております。

「甘肅自然富源展」は、1,700平方メートルの展示面積を用い、実物・模型1,380点を展示し、甘肅の行政区画・人口・民族・交通・気候・水分・土壌・豊富な動植物・鉱物資源を紹介しております。

「嘉峪関魏普壁画墓」は、嘉峪関から運んできた実物の墓で、室内に60余幅の磚画が保存されています。洗練された構図、鮮麗な色彩、円熟した技術で描かれたこれらの画磚には、生活の息吹が漂っており、広く好評を博しております。

「黄河古象展」には、1973年春、合水県で発見されたステゴドン化石を展示しています。長さ8メートル、高さ4メートルの巨体は世界一と言われ、最も完全に保存されたステゴドンの遺骸です。

本館の研究は、古代人類・新石器彩陶・漢時代の国境守備・簡牘卷書・西夏文字・書道芸術などの面で充実しており、多くの成果を上げています。毎年、編集出版している重要な書卷は「武威漢簡」、「甘肅彩陶」、「武威漢

代医簡」、「漢簡研究文集」（省文物工作チームとの共同編集）、「紅軍長征過甘肅革命文物」、「淳化閣帳選」、「漢簡書法選」など10種類以上あります。文物保護の技術研究も行い、特に木簡・織物・古代壁画・石窟寺の保護については一定の成果を上げ、なお引き続き有益な方法を研究中です。甘肅省博物館で複製した彩陶は、1983年に開催された中国国際旅遊会議において、旅行記念品優秀賞を受賞しました。

現在、甘肅省博物館は、改革の精神及び人民奉仕を目的とし、博物館の新しい局面を創り出すために、全職員あげて努力奮闘を続けております。

(6) 甘肅省人民政府表敬訪問

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 6 日 (火)

17 時～17 時 55 分

〔場 所〕 甘肅省蘭州市 甘肅省人民政府

〔出席者〕 張 吾 樂 甘肅省人民政府常務副省長

陳 綺 玲 甘肅省人民政府秘書長

程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任

曹 任 德 甘肅省人民政府外事弁公室副主任

齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長

費 亜 夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長

孟 軍 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員

李 文 徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員

張吾樂常務副省長挨拶

私は、甘肅省人民政府並びに賈志傑省長に代わりまして、第 4 次全国知事会訪中代表団の皆様の御来訪を心から歓迎いたします。

甘肅省の賈志傑省長は今、農村部へ行っております。と申しますのは、甘肅省は 40 日間雨が降っておりませんので、地方に巡回に行つて住民を激励しております。賈志傑省長は、代表団の皆様が甘肅省を立たれる前の 8 月 8 日に、皆様にお会いする予定にしております。

甘肅省は、中国の西北に位置し、面積は約 45 万平方キロ、人口は 2,200 万人強です。省人口の 91%は漢民族ですが、残りの 9%は少数民族で、その居住地域は総面積の 40%を占めます。主な少数民族は、回族、蔵(チベット)族、東郷(トンシャン)族、土(トウー)族、裕固(ユーク)族、満州族、

撒拉（サラール）族、蒙古（モンゴル）族、保安（パオマン）族、哈薩克（カザフ）族がおります。このうち東郷、裕固、保安の3民族は甘肅省だけに居住する少数民族でございます。

甘肅省の省都は蘭州で、蘭州、天水、白銀、金昌、嘉峪関の5省轄市と酒泉、張掖、武威、定西、平涼、慶陽、隴南の7地区、甘南、臨夏の2民族自治州、86の県（市、区）からなっています。

中華民族の文化は、黄河の上流から下流までの流域に発達していますが、甘肅省は中国西部の内陸腹部地帯、黄河の上流にあり、黄河文明揺籃の地で中華民族の重要な発祥地の一つでもあり、悠久の歴史と絢爛たる文化を備えております。古代の文化が発達した有名なシルクロードとして、幅100キロ、長さ1,000キロにわたって河西回廊が甘肅省内を走っております。それから世界的に良く知られている敦煌の莫高窟、天水の麦積山石窟、万里の長城の終点に当たる嘉峪関なども甘肅省にあります。

産業は重工業、鉱業、軽工業、農業、牧畜業が盛んで、特に石油の生産では中国第一の省として脚光を浴び、石油化学、非鉄金属などの工業は国民経済の中で重要な位置を占めています。

また、甘肅地域で大きな落差がある黄河は、水力発電に適しており、既に劉家峡、塩鍋峡、八盤峡の三つの発電所が完成し、青海省、陝西省、寧夏回族自治区へ送電しています。

甘肅省は、最近外国との対外交流を盛んに行っております。特に、日本との交流を幅広く行っています。甘肅省は日本の秋田県と友好関係を結んでいますが、省都の蘭州市は秋田市と友好関係を結んでいます。友好都市の間では毎年友好訪問をしておりますが、日本の元総理大臣竹下登先生も甘肅省

を訪問されたことがあります。公明党の元委員長の竹入先生も甘肅省を訪問されたことがあります。その他にも有名な先生が毎年敦煌を訪れられております。

今年の9月初旬、東京の千代田区立産業会館で甘肅省対外経済貿易展示商談会を開催いたします。代表団の皆さんも、もし御都合が良ければ是非御出でになって下さい。

私は、皆さんの今回の御訪問の成功を祈ります。甘肅省で楽しい時を過ごされますよう、心からお祈り申し上げます。

西尾団長挨拶

ありがとうございました。私達日本の全国知事会訪中代表団は、中日友好協会と日本の全国知事会との間で続けられている知事・省長の相互交流事業の第7回目の行事として、お国を訪問いたしました。空港では程有清先生のお出迎えを頂いたのをはじめ、先程来ずっとパトカーの先導をつけて頂いて、ただいま甘肅省人民政府を訪れることができました。私達は、張吾楽先生にお目にかかれ、大変光栄に存じております。

私はこちらへ参る途中、黄河を渡ってみたいと思っていました。自動車でございましたけれども、黄河を渡ることができ、私には思い出深いものがあります。そして、甘肅省博物館では初世賓館長の御説明を頂き、本当に素晴らしい、なかなか実物を見ることのできない青銅器の名品・銅奔馬をはじめとする貴重な文物を拝見させて頂いて、非常に印象深く、何か、私ども日本文化のルーツを思わせるような感じを抱いた次第でございます。

本日、甘肅省は非常な干ばつで大変な損害を被っており、賈志傑省長先生

が、現地で陣頭指揮をとっておられると伺いました。これから救済・支援など色々な御苦勞がおありだと思います。心から皆様にお見舞を申し上げます。

また、張吾樂先生にはお忙しい折にもかかわらず、こうして私達をお招き下さいまして、誠に恐縮に存じております。

特に中国は今、新しい中国になってから一番大きな水害に見舞われております。大変大きな被害でございます。心からお見舞を申し上げますと同時に、これからの救助・救済支援、復旧再建などの対策は想像を絶する難事であり、完全復興までには長い時間を要するものと存じます。どうか、国民の皆様が安心して住めるような災害の回復を心からお祈り申し上げます。

甘肅省は、豊かな鉱物資源・農畜産物に恵まれ、石油をはじめとする多くの工業部門でも中国全土を通じて先導的な役割を担っておられ、お国の目標である四つの近代化推進の要となっている素晴らしい省であると伺っております。今後ますますの御発展とお幸せをお祈りいたしております。

これから、中国と日本は、末長い友好の絆を更に強めていかなければならないと思います。甘肅省は来年、秋田県との友好提携 10 周年を迎えられると伺っておりますが、私ども訪問団の 6 都県のうち 5 都県は、既に中国各省・市と友好関係にあって定期交流・技術協力関係を重ねており、残りの 1 県も近く友好提携をする予定となっております。

私どもの鳥取県では、河北省と友好提携を結び、今年で 5 周年を迎えております。

張吾樂常務副省長

河北省は、私の故郷です。

西尾団長

それから、鳥取県では、甘肅省にある中国科学院蘭州沙漠研究所と鳥取大学乾燥地研究センターとが友好提携を結び、緑化についてのお互いの情報を交換しながら共同研究を続けております。

特に、中国沙漠開発日本協力隊隊長の遠山正瑛鳥取大学名誉教授が蘭州に参りまして、どうすれば緑化できるのだろうと色々研究しておられます。そして、砂漠の緑化に最適なクズの種を日本から持って参りまして、研究所に植えたところ、クズが発芽して、砂漠の緑化に一役買っているとのことでした。

また、この遠山鳥取大学名誉教授の提唱によるクズの種による中国緑化運動に呼応して、クズの種を送り続けている鳥取県の小学生達が「自分達が集めたクズの成長を、この目で見たい。」と甘肅省を訪れております。

甘肅省に現在お帰りになられていると思いますが、蘭州市中国科学院蘭州沙漠研究所の杜明武さんは、鳥取県に農業の勉強に来ておられました。

張吾楽常務副省長

中国科学院蘭州沙漠研究所は、中国で最も有名かつ最大の砂漠研究機関です。いつも国連の委託で研究を続けております。

西尾団長

日本では、砂漠の研究所は私のところ、鳥取県だけにあります。

張吾楽常務副省長

鳥取県の砂漠面積は、大きいですか。

西尾団長

鳥取砂丘は、日本では一番大きく、東西 16 キロ、幅は南北 2 キロの規模を持ちます。

張吾楽常務副省長

日本の地図を見ると、砂漠と書いたところが全然ありません。おそらく砂漠研究所と言っても、研究目的は同じでないと思われます。

甘肅省の研究所の目的は、砂漠をできるだけなくすことです。鳥取県の場合、砂漠を保有したいということではないのですか。

西尾団長

観光の部分の砂丘は、残したいと思っております。それから鳥取大学乾燥地研究センターは、緑化、あるいは砂地や砂丘地でどういう作物ができるのかを研究しております。

また、鳥取県と同じように、鳥取大学が、メキシコの乾燥地に散在している鉱工業労働者及び同地域住民の福祉向上のため、生鮮野菜、果実等の自給生産技術普及を目的とする「乾燥地域農業研修センター」への技術協力を、国際協力事業団を実施団体として行っております。

張吾楽常務副省長

西尾団長先生、興味があれば甘肅省にも一つ作って下さい。大歓迎です。

西尾団長

甘肅省に参る時、飛行機の中から地上を見たのですが、一体あれは何なの

だろうかと思いました。最初は何か分からなかった。広い砂漠であるのか、あるいは水害で水が流れて溜ったのか、なかなか理解できませんでした。すべて砂丘ですね。

張吾楽常務副省長

本当の砂漠でなく、砂丘と砂漠との境目です。甘肅省の北部から西北部にかけて、テンゲル、バタインシアレンなどの砂漠が広がり、その面積は省面積の25%を占めております。

今日は暑いので、どうぞ果物を召し上がって下さい。

西尾団長

先程、甘肅省博物館でおいしいスイカやメロンを頂戴しました。鳥取県で生産されるスイカもおいしいです。

張吾楽常務副省長

鳥取砂丘のお蔭で、おいしいスイカが収穫できるのでしょうか。

西尾団長

この間、私ども訪中代表団は、東京の中華人民共和国駐日大使館で、スイカを御馳走になりました。その後で、鳥取県のおいしいスイカを大使館にお届けしておきました。

張吾楽常務副省長

この果物は、モモです。少し季節が過ぎましたが、召し上がって下さい。

[質疑応答]

問 植林が行われていますが、非常に禿げ山が多い。甘肅省人民政府は、これから植林をどのような方法で行うのか。何の木を植えられるのか。

答 ポプラの木が一番多いです。成長しやすいし、早いのです。

最近、秋田県からサクラの苗木を頂きました。今特定の場所で栽培していますが、来年は公園に移植することになっております。

問 市街地の土質と山の上の土質では、違いがありますか。

答 同じ土質です。

問 これだけ市街地に木や緑が育っていれば、禿げ山でも、植林すれば木は育つでしょう。

答 問題は水でございます。水があれば木を植えられます。向かい側の山の木は、水を引き揚げて育てております。省、市、各工場が責任を持って植樹しております。1950年代には、向かい側の山には木が1本しかありませんでした。今は植樹して努力した結果、木が一杯あります。ですから、草や木は甘肅省にとって最も大事なものの一つでございます。

問 中日友好協会の王效賢先生は、6月に日本に見えられ「全国の知事さんに御協力頂いて、中国の植林を手伝って頂けないだろうか。」というお話がございました。御協力申し上げたいのですが、何しろ日本と比べてずいぶん広いお国ですから、どんな木を植えて、どのようにしたら良いか、これから研究していかなければならない問題です。

答 先程、ポプラの木と申し上げましたが、黄河の流域には、ヤナギ、マツ、エンジュ、ニレなどの木が多いです。

問 山の上の木の種類は、どのくらいありますか。

答 何種類もあります。問題は水です。向かいの山では水を引き揚げてから
はじめて木が育ちます。

問 昨日、中国共産党中央政治局常務委員李瑞環閣下との会見の時に「黄河
の1立方メートルの水の中には、100～300キロの泥と砂が入っている。」
と言われました。黄河の水は非常に大事です。甘肅省人民政府の中庭の噴
水は、どこから引いておられますか。

答 都市用水です。しかし、地下水を循環して利用しています。地下水とい
っても、黄河の水です。黄河の水が砂によって浄化されて、砂の下に入っ
て溜っておりますので、砂を掘って水を引き揚げて利用しております。

問 地下水を利用するには、どのくらい砂地を掘りますか。

答 地域により掘る深さは違います。この辺りは、約30メートル掘れば地下
水は利用できると思います。

問 蘭州空港からこちらに来るときに水田がありました。水田の灌漑用水の
確保は大変だと思います。

答 甘肅省の耕地面積は5,300万ムーあります。そのうち水をやれるような
場所は1,400万ムーでございます。甘肅省の灌漑用水の確保を申しますと、
甘肅省の中部では黄河の水を利用しています。南部の方へ行きますと、揚
子江流域の嘉陵江上流である白竜江などの河川の水を利用しています。こ
れから皆様が行かれる河西回廊は、祁連山脈の雪解けの水をダムに貯めて
利用しております。

(7) 敦煌研究院視察

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 7 日（水）

15 時～15 時 14 分

〔場 所〕 甘肅省敦煌市 敦煌研究院

〔出席者〕 段 文 傑 敦煌研究院院長

朱 洪 江 敦煌研究院職員

張 志 剛 敦煌市人民政府市長

李 生 甲 敦煌市人民政府外事弁公室主任

李 世 成 敦煌市人民政府外事弁公室接待部主任

程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任

齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市處處長

段文傑院長説明

本日は、敦煌研究院に日本から 6 人の知事先生、高官の皆様をお迎えすることができ、私は大変嬉しく思います。熱烈に歓迎いたします。

敦煌という地域は、お国とは大変密接な関係があります。昨年、竹下元日本国総理大臣が敦煌を訪れられ「敦煌は日本の文化の源」だとおっしゃいました。中国の仏教文化は、日本とは大変密接な関係があります。特にこの敦煌には 5,500 年～5,600 年の歴史がありますので、中国が対外開放政策に移行して以来、たくさんの日本の友人の皆様が敦煌を訪れるようになりました。

ここ数年来、敦煌には、観光や研究などの目的で外国の方々がたくさん訪問されております。しかし、その中では、日本の方々が半分以上を占めておられます。日本の寺院の高僧の方も良く敦煌にお見えになります。例えば、法

隆寺や薬師寺の方々でございます。また、東京芸術大学の平山郁夫先生をはじめとする方々が、大変敦煌に深い関心を寄せておられます。東京芸術大学の美術学部の学生さんは、敦煌に来られないと本当の卒業ができないという定めがありますので、平山郁夫先生は、今年の9月にも、卒業される学生さんを敦煌へお連れになる予定と伺っております。したがって、敦煌は中日友好の絆となる場所になっていると、私は思っております。

敦煌では、敦煌文化財保存研究・展示センターを建設するに当たって、竹下先生から御援助を頂いております。この援助を得て、今年の9月25日に起工式を行います。この起工式には、竹下先生が代表として出席される予定となっており、1993年に完成する計画になっております。また、1993年は敦煌研究院の創立50周年に当たります。敦煌文化財保存研究・展示センターが完成すれば、日本の方々をもっと多く来られると期待しております。この日本からの援助は、中日友好の一つの具体的な現れだと私は思います。その節は、是非知事の皆さんもお出かけ下さいますよう期待しております。

敦煌・莫高窟には、洞窟の数がたくさんありますので、一日では回りきれません。日本の有名なお医者さんが、敦煌に来られまして、洞窟の壁面に描かれている唐の時代の画の中で、歯を磨いている画を発見されました。そして、大変喜んで日本に帰られ「中国では唐の時代に、既に歯の衛生を大事にしていた。」という論文を発表されました。

敦煌文化財保存研究・展示センターが完成すれば、両国の文化交流、友好交流の一つの場になるとともに、敦煌の文化の保存面では大きな進歩を遂げると思います。そして、1993年に、その完成を記念してシンポジウムを開く予定です。世界数十カ国の人々をお招きする予定ですが、日本の学者が

一番多く占めております。

まだ、皆さんは洞窟を御覧になっておりませんね。また、程有清外事弁公室主任が御同伴ですから、洞窟の御視察はできるだけのサービスをしたいと思っております。

西尾団長挨拶

今日、私達は敦煌に参りました。敦煌研究院の段文傑先生からお話を承る機会を頂き、非常に光栄に思います。只今、お話にございましたように、日本の学術・芸術・文化は、隋や唐の時代から非常に中国からの影響を受けていることを、私達は子供の時に学校で教えてもらったものです。

特に最近では、井上靖先生が小説「敦煌」をお書きになられてから、主人公の趙行徳が活躍した辺境の地ということで、日本人の間では非常に関心が深くなって参っております。世界的にも貴重な仏教芸術を有する古典文化の宝庫を、私達が拝見できますことを、大変興味深く、楽しみにして、敦煌におじゃましました。お忙しいところ大変恐縮でございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

段文傑院長

敦煌・莫高窟の見学時間は、今から2時間しかありません。これから朱洪江職員が、現在保存している最も良い洞窟を御案内いたします。竹下先生が御覧になった、あの井上靖先生の小説「敦煌」の藏経洞として良く知られている洞窟の第17窟をはじめ、時代別に代表的な石窟329、320、285、45、257、96、158、159、130を御覧頂きます。

(8) 張志剛敦煌市人民政府市長主催歓迎宴

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 7 日 (水)

19 時～20 時 45 分

〔場 所〕 甘肅省敦煌市 敦煌賓館餐廳

〔出席者〕 張 志 剛 敦煌市人民政府市長

李 生 甲 敦煌市人民政府外事弁公室主任

李 世 成 敦煌市人民政府外事弁公室接待部主任

程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任

齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長

張志剛市長挨拶

西尾邑次先生を代表とする第 4 次日本全国知事会訪中代表団の皆様、敦煌を訪問して頂き、心から歓迎の意を表したいと思います。私達は、敦煌市人民政府を代表して、御在席の皆様を歓迎いたします。

私のささやかな気持ちを表すために、西尾邑次先生と訪中団の皆様の御健康のために、並びに御在席の友人の皆様方の御健康のために、乾杯をしたいと思います。 乾杯！！

西尾団長挨拶

私達、第 4 次全国知事会訪中代表団が敦煌市を訪れましたところ、早朝から張志剛市長先生、李生甲外事弁公室主任、李世成外事弁公室接待部主任をはじめ、多くの皆様に空港までお出迎えを頂きましてありがとうございました。

また、本日は、私達の関心の深かった敦煌・莫高窟に御案内頂きまして、

本当にありがとうございました。

この度、甘肅省の蘭州市や敦煌市を友好訪問いたしまして、何か、私達日本文化のふるさとは、やはり中国であるということを、私は肌で強く感じた次第でございます。皆様の暖かい御歓迎に対し、心から感謝を申し上げます。

御主人側の杯をお借りしまして、お国のますますの御発展、各先生方のいよいよの御多幸、中日友好の深まりゆくことを祈念して、乾杯したいと思います。 乾杯！！

(9) 雁灘郷視察

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 8 日 (木)

16 時 05 分～17 時

〔場 所〕 甘肅省蘭州市 雁灘郷

〔出席者〕 雁灘郷責任者

程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任

斉 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長

費 亜 夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長

李 文 徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員

雁灘郷責任者説明

日本の全国知事会訪中代表団の皆様が、雁灘郷を訪問されました。私は、雁灘郷の農民達を代表して、心から歓迎の意を表します。

雁灘郷は、蘭州市郊外の一つの農村です。この農村は蘭州の東側にあり、黄河はここを貫いています。面積は 14.5 平方キロです。ここは蘭州市から近いので交通は大変便利です。この郷には 13 の農民委員会があります。郷経営の工場は 13 あります。村営の工場は 24 あります。全戸数は 5,138 戸、人口は約 25,700 人です。全郷の耕地面積は 781 ヘクタールです。一人当たりの耕地面積は 0.03 ヘクタールです。ここの主な農作物は果物と野菜です。野菜畑の面積は 530 ヘクタールです。樹木の数は 62,000 本あります。野菜の品種は 103 種あります。果物の品種は 130 種余りあります。この郷は自動車を 270 台保有しています。灌漑用ポンプは 44 台あります。文化教育の面では、中学校 2 と小学校 7 を持っております。在校生は中・小学校の合計で 3,100

人います。入学率は100%に達し、教職員は240人おります。病院は外科病院が1カ所あります。13村には各1カ所の診療所があります。医者と看護婦は合計で140人おります。

中国の対外開放政策が行われて以来、雁灘郷の農民の生産は積極性がかなり出て参り、機械力を利用しての農作方法で成功しました。毎年の野菜の生産高は285万キログラム、果物の生産量は850万キログラムです。この野菜や果物は蘭州市の4分の1を賄っております。

工業は、1983年以後、かなり発展して参りました。1990年の農工業の生産の総額は5,900万人民元です。雁灘郷の9年間の農工業の生産額の伸び率は大体毎年12%です。農工業生産の発展にともない人民の生活レベルはかなり高くなってきました。1990年の一人当たりの純収入額は1,050元に達しております。

[質疑応答]

問 生産が上がったものは、全部各戸の農家の収入になっているか。

答 そうです。

問 先程の純収入額は、税とか何か全部納めた後、自分で全部処分できる所得か。

答 そうです。全部の経費を除いた残りの可処分所得です。

問 一人っ子政策のため、戸数に比べ非常に子供が少ない。

答 そうです。

問 雁灘郷の兼業農家の割合は。

答 大体3分の1は兼業農家です。残りの3分の2が専業農家です。

問 農業を向上させる、農業協同組合のような組織はあるか。

答 農業生産会社があります。

問 果物の種類は、130種と言われましたが、どういう種類か。

答 リンゴ、ナシ、モモ、カキ、ナツメ、アンズ等あらゆる果物が採れます。

問 一番多く採れるのは。

答 リンゴです。

(引き続いて、農家と果樹園を視察。)

(10) 賈志傑甘肅省人民政府省長主催歓迎宴

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 8 日 (木)

18 時 35 分～20 時 25 分

〔場 所〕 甘肅省蘭州市 蘭州飯店餐廳

〔出席者〕 賈 志 傑 甘肅省人民政府省長

孔 令 鑒 甘肅省人民政府副秘書長

程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任

齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長

費 亜 夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長

孟 軍 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員

李 文 徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員

賈志傑省長挨拶

第 4 次日本全国知事会訪中代表団の皆様、甘肅省の御訪問を心より歓迎いたします。

甘肅省は今、日本からの観光客をたくさん受け入れております。井上靖先生の小説「敦煌」の映画化以来、敦煌は大きな影響を受けております。日本の竹下登先生も来られました。また最近では、日本の大型訪中代表団が甘肅省に来ておられます。現在、敦煌莫高窟の保存・研究のため、日本から御協力を頂いておりますが、敦煌は世界共通の財産だと私は思います。

甘肅省はまた、古代シルクロードの要衝として栄えました。中国では対外開放政策をとっておりますが、歴史的に見ますと、甘肅省は歴史上最初に開放された都市でございます。

最近、甘肅省の対外交流はますます増えております。特に、日本人の皆さ

んの訪問は、心から歓迎いたします。

代表団の皆さん、甘肅省を訪問されるのは、今回がはじめてですか。甘肅省を御覧になって、どういう印象を持たれましたか。

西尾団長挨拶

甘肅省の訪問は、私ども今回が最初でございます。たくさんの観光客がお見えになることと思います。

私達は、この度、中日友好協会のお招きを頂いて、全国知事会の中の6都県の代表団でお国を訪問し、一昨日甘肅省蘭州市に到着いたしました。空港では程有清外事弁公室主任らのお出迎えをはじめ、張吾楽常務副省長に御招待を賜わり、心から感謝申し上げます。

一昨日は、甘肅省博物館の貴重な文物を拝見させて頂きました。昨日は、敦煌の素晴らしい莫高窟の石窟群や鳴沙山・月牙泉を見学して参りました。先程、賈志傑先生は「敦煌は世界共通の財産だ。」と申されましたが、正にその通りでございます。

今日は、甘肅省蘭州市郊外の雁灘郷の農家と果樹園を見学させて頂きました。こちらに参りまして、文化、芸術等に触れますと、私達のふるさとに来たような、何か懐かしい印象を感じました。井上靖先生の小説「敦煌」の主人公趙行徳が活躍したように、日本でも、あの小説が出版されてから非常に敦煌に対する関心が深くなったような気がいたします。今回も敦煌には大勢の観光客が来ていました。中でも日本人の観光客が非常に多いという印象が深く感じられました。敦煌は、これからもますます世界の人々が注目するところでございます。

このお話の前に申し上げるべきでありましたが、中国では18の省・自治区・直轄市で水害が発生し、今回の水害の範囲の広さ、損害のひどさ、程度の大きさはこの数十年間見られなかったと伺っております。それと逆に甘粛省では、ひどい干ばつの影響で被害が広がっているとのことをございます。心からお見舞を申し上げます。賈志傑先生は、昨日と一昨日現地を訪れて激励なさり、先程お帰りになられたと伺っております。被災地への救済・支援はなかなか容易なことではありませんが、将来に向けての対策を立派に講ぜられ、住民の皆さんが安らかな気持ちで生活できますことを、心からお祈りいたしております。

賈志傑省長

現在、世界的に気候は異常です。揚子江流域は洪水です。黄河流域は干ばつです。甘粛省は黄河流域の上流ですので、当然干ばつでございます。甘粛省は今、雨季の季節ですが雨が降りません。歴史的に見ても大変珍しいと思います。今年は農作物が良く成長し豊作が目に見えるようでした。しかし、ひどい干ばつによる被害が大きく困っております。甘粛省人民政府は、干ばつによる影響を重視して被災地への救済・支援に全力を挙げ、この難事を乗り越えていく決意です。

私は、5日から8日の今日まで、河西回廊の被災地に行って干ばつの被害を受けた人民の激励をしてきました。そして、今日の昼過ぎに蘭州市の人民政府に帰って参りました。改めて、日本全国知事会訪中代表団の皆様、甘粛省人民政府を代表して歓迎いたします。

中日両国の友好関係の一層大きな発展のために、第4次日本全国知事会訪

中代表団の御訪問の成功のために、訪中代表団の皆様並びに御在席の友人の皆様方の御健康のために、乾杯を提案したいと思います。 乾杯！！

西尾団長

甘肅省は、来年度、秋田県との友好提携 10 周年を迎えられると承っております。私ども代表団のうち 5 都県は、既に中国各省・市と友好関係にあって定期交流・技術協力関係を重ねており、もう 1 県は近々友好提携をする予定となっております。

日中両国の友好関係の一層の大きな発展のために、賈志傑省長並びに御在席の友人の皆様方の御健康のために、乾杯をしたいと思います。 乾杯！！

(11) 蘭州化学工業公司、同生活服務公司第一幼稚園視察

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 9 日 (金)

9 時 20 分～13 時 22 分

〔場 所〕 甘肅省蘭州市 蘭州化学工業公司

同生活服務公司第一幼稚園

〔出席者〕 李 明 東 中国石化国際事業公司蘭化分公司總經理

黄 毅 密 中国石化国際事業公司蘭化分公司常務副總經理

葛 維 榮 中国石化国際事業公司蘭化分公司副總經理

程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任

齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処処長

費 亜 夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長

李 文 徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員

李明東總經理説明

第 4 次日本全国知事会訪中代表団の御来訪を、私は蘭州化学工業公司の 45,000 人の従業員を代表して心より歓迎いたします。

我々の公司は、1953 年から計画を開始し、38 年間の建設と発展を経て、現在では石油を主要な原料とする中国石油化学工業連合企業の一つに発展しております。

公司の下部組織としては、化学肥料工場、石油化工工場、合成ゴム工場、化学繊維工場、有機化学製品工場、原料エネルギー工場、化工機械工場など七つの生産工場があります。また、販売公司、化工建設公司、化工研究院、設計所、医院、学校、労働服務公司、生活服務公司などの内部組織も持っております。従業員は、先程述べましたように 45,000 人が働いております。

会社は、主として合成ゴム、樹脂、繊維、合成アンモニア、メチルアルコール系列の製品及び化工原料、高分子添加剤、化工設備など 100 種以上の製品を生産しています。その中でも、32 種類の製品は国家化学工業部、省の優秀製品の称号を獲得しております。また、国内需要を賄う製品以外に、ABS 樹脂、メチルアルコール、ウロトロピン、低密度ポリエチレンなど 14 種の製品を外国に輸出しております。

主な状況は以上ですが、会社の総合的な能力は、全国の大型工業公司の中で重要な役割を果たしております。これから、会社の模型を見て頂いてから、公司内を御案内いたします。模型を紹介させて頂く目的は、公司全体の様子を御理解頂けるからでございます。

今、蘭州は果物の季節です。蘭州特産の白蘭メロンが沢山ありますので、話し合いながら食べましょう。

西尾団長挨拶

甘粛省は、豊富な地下資源に恵まれて、石油化学・機械・金属など重化学工業が発達した工業地域と伺っております。こうした素晴らしい化学工業公司を視察させて頂くことを、私達訪中代表団は非常に楽しみにしておりました。大変お忙しいところ、御説明ありがとうございました。

果物を頂戴いたします。蘭州の白蘭メロンは、とてもおいしいです。

[質疑応答]

問 公害はあるか。

答 化学工業のある場所には、程度は違いますが、公害があります。公害に

については、各工場及び人民政府が注意しております。私達も皆この地球に住んでいますので、環境は重視しております。

問 この辺は空気が大変綺麗です。どのようにして公害を防いでいるのか。

答 殆どプラントごとに、環境を保護するための設備を整えております。この公司には環境保護研究所もあります。

新設プラントの予定がありますと、環境保護の装置がなければ設立ができません。中国の環境保護は、大変厳しいです。

問 合成ゴムは、どのような種類があるか。

答 タイヤとか色々あります。合成樹脂は家庭用の電気などに使われます。

問 この工場の年間の生産額、設備投資額はどのくらいか。

答 年間生産額は人民元で 14 億元です。固定資産は 16 億元です。工場の中の投資額は日本と違います。中国では 5 年間の計画があります。

問 総設備投資額の中で、公害防止・環境保全のための総投資額は、中国の 5 年計画の中で、どのくらいを示すか。

答 10%です。

(引き続いて、同生活服務公司第一幼稚園を視察。)

生活服務公司第一幼稚園責任者説明

生活服務公司第一幼稚園は、1958 年 5 月に創立されました。以来三十余年間に、第一幼稚園は 2 度の改造・拡張を経て、現在 4 階建ての建物になっております。現在は 21 の保教班(クラス)があり、1,100 人の園児がおります。全班(全クラス)にテープレコーダ、オルガン、黒板、洋服ダンス、多種の

小玩具が設置されています。幼児の食器・寝具は全種類そろっています。各種の専門教育班はピアノ、アコーディオン、エレクトーン、広々として明るい練習室、多彩な公演用衣装を配備しています。この2年間に、さらに十数万元を投じて、大型電動あひる、電動汽車を据え付け、大型洗濯機、冷蔵庫、紫外線消毒箱を購入し、新炊事場を建設し、スチーム・パイプを通しましたが、これらの設置・使用以後は、子供達の健康・成長に大変良い影響が見られました。

第一幼稚園は、最も多い時には1,581人の幼児を預り、保教人員は134人に達しましたが、現在の保教人員は110人、教師は資質・力量の不断の向上に努めており、大学卒業者が2人、高等専門学校卒業者が7人、本園の幼児教師養成所卒業者が21人います。保教人員の中からは、蘭州市級優秀教師、蘭州化学工業公司級労働模範、優秀園芸職人、最良技術名匠が輩出いたしました。

長年にわたり、第一幼稚園は「保育・教育共に重要、人格第一」を園方針に掲げ、職員組織の職業道德教育、理想教育、蘭州化学工業伝統教育、技術業務訓練を常に強化しています。また教育職員は、この職業を愛し、子供を愛しています。また、「保母は母に勝る」、「優れた奉仕をして標準を越える」、「優秀性は競争から生まれる」、「微笑んで仕事をすれば、窓に温もりが広がる」等のスローガンを何度も展開し、活動を多くの形式で競争させたことは、保育の質の向上を大変促進させました。蘭化公司により幾度も「模範団体」、「先進単位」と判定され、西固区により「幼教工作先進団体」と判定され、1982年には甘肅省労働模範代表会議へ出席、そして1983年には全国労働模範代表会議へ出席いたしました。

第一幼稚園は、1985年以來、幼教科科学研究活動を積極的に展開し、QC小グループを創立しました。1986年に開始してから今年までにQCの成果を9編発表していますが、その中の「オルフ音楽教育法」は2年の実践を経て得た経験を総括して、全国幼児雑誌に発表し、また西北5省（区）托児工作現場見学会においては「幼児教育改革の春」が優勝旗を獲得いたしました。《幼児に思うまま絵を描くことを教える》QCグループの活動成果は、省石油化学庁の評価奨励に推薦されました。《筆画において幼児の絵画技能を向上させる》QC小グループの活動成果は、甘肅省優秀成果賞を獲得しております。

ここ数年来、第一幼稚園は単調な大・中・小班を改め、学齡前班、栄養班、エレクトーン班、アコーディオン班、書道絵画班、音楽舞蹈専門班、小学生冬休み帰園班等を発展増設しました。

各種の柔軟で多様な視聴覚教育を取り入れ、幼児の知力を開発し、想像力を豊かにし、四つの能力を育成したことは、幼児の「徳知体美」の全面発達を促進し、第一幼稚園は、幼児教育改革において喜ばしい一歩を踏み出しました。1981年から現在までに、国際連合、アメリカ、イギリス、日本、西ドイツ、スウェーデン、カナダ、オーストラリアなど12カ国1,850人以上の国際的友人と国内各省市代表720人以上を接待し、外国客人のために上演した幼児のプログラムは121回になります。1988年には蘭州市第1回少年儿童舞蹈大会に参加し、2・3等を獲得しました。1985年には甘肅省の「保険杯」で3人が賞を得、幼児韵律で3等を獲得しました。5名の子供は「双龍杯」全国少年儿童書画大会において佳作賞を獲得しました。1990年蘭州市中小学生幼稚園芸術祭西固区大会では、38名が幼児の絵画、書画、小制作及び三項（健康、学習、活動）全能大会で賞を獲得しております。

西尾団長挨拶

私達日本の全国知事会訪中代表団がおじゃまして、皆様それぞれお仕事中的ところ、歓迎を頂きましてありがとうございました。蘭州化学工業公司内の素晴らしい幼稚園を見せて頂き、誠に有意義でございました。

教育の重要なことは、私が申し上げるまでもありません。社会が良くなるのも悪くなるのも、平和であるのも戦争に行くのも、そして人類が繁栄するのも、一番もとにあるのは教育だと思います。

この素晴らしい幼稚園で働いていらっしゃる皆様は、どうかこの教育の重要性を考えられて、りっぱな子供達を育てられるように、これからも御努力を頂きたいと思います。皆様ありがとうございました。

(12) 蘭州第三毛紡織廠視察

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 9 日 (金)

13 時 30 分～14 時 30 分

〔場 所〕 甘肅省蘭州市 蘭州第三毛紡織廠

〔出席者〕 任 俊 亭 蘭州第三毛紡織廠廠長

程 有 清 甘肅省人民政府外事弁公室主任

齊 宝 玲 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市處處長

費 亜 夫 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処副処長

李 文 徳 甘肅省人民政府外事弁公室友好城市処職員

任俊亭廠長説明

私は、この工場の 7,000 人の従業員を代表して、西尾先生を団長とする全国知事会訪中代表団を心から熱烈に歓迎いたします。

蘭州第三毛紡織工場の概要を申し上げます。当工場は 1972 年に建てられ、1974 年から生産が開始されました。そして、1980 年に再建され、1982 年からまた増産をはじめております。

蘭州第三毛紡織工場は、中国で一番大きいウーステッド（ウール・スーツ生地素材）の全能性の総合企業です。現在、ウーステッド・ファブリック（ウール・スーツ用生地織物）のスピンドル（紡錘）が 20,520 錘、カシミアのスピンドルが 2,400 錘、ニット・ドレスが 80 万着、服装が 20 万着の年間生産能力を持っております。

蘭州第三毛紡織工場の年生産高は、ウーステッド・ファブリックが 500 万メートル、カシミアが 600 トン、従業員が約 7,000 人いて、固定資産のコス

トが 1.1 億元です。工場は、トップ（霜降り糸）、紡織、織布、染色と後仕上、ニットイング工程、カシミア、服装などの 8 工場に分かれております。

蘭州第三毛紡織工場の製品は、優良な設備、優れた工程、精緻で美しい原料、科学的な管理を身につけて、時代の特色を持ち、品種が良く揃い、全部の品種が 1,600 余り、模様が多く 11,000 余りあります。質量とも優れ、西北 5 省の地域の中ではじめて、IWS のウールと羊毛混紡標識を獲得しました。その中で 20 個の製品が国際基準を採用して、1 製品が中国国家の銀質賞、8 の製品が中国紡織工業部の優質賞、17 の製品が甘肅省の優質賞を獲得し、8 の製品が中国婦人児童用品博覧会の金、銀賞と 8 の“唯爾佳”賞杯を獲得しております。

蘭州第三毛紡織工場の製品は、中国全土へ流通しております。世界市場へは、ヨーロッパ、アメリカ、日本、香港などの地域へ輸出されております。

この工場は西北 5 省の地域の中心部にあつて、ウールの資源が非常に豊かであり、交通も大変便利なので、開発の前途は洋々たるものがあります。当工場は誠意をもって、国内や国外の消費者に奉仕をいたしております。

以上が、本工場の基本的な概要です。丁度今は、蘭州の果物の出ている季節ですから、皆様果物を御賞味下さい。

西尾団長挨拶

大変お忙しいところ、おじゃまいたしました。このパンフレットを拝見すると、中国で一番大きいウーステッド生産の総合企業であると書かれております。私達は、こうした第一級の工場を視察させて頂き、大変感謝申し上げます。

先程、任俊亭廠長さんは「7,000人の従業員を代表して」と御挨拶されましたが、このパンフレットには6,000人と書いてあります。このことは蘭州第三毛紡織廠が大きくなっていることを如実に表しております。

蘭州第三毛紡織廠のますますの御発展をお祈りいたします。本日は、本当にありがとうございました。

(13) 陝西歴史博物館見学

〔日 時〕 平成3年8月10日（土）

14時45分～16時30分

〔場 所〕 陝西省西安市 陝西歴史博物館

〔出席者〕 韓 偉 陝西歴史博物館副館長

秦 元 愷 陝西省人民対外友好協会副会長

劉 立 仁 陝西省人民対外友好協会副秘書長

劉 建 恵 陝西省人民対外友好協会職員

韓偉副館長説明

第4次日本全国知事会訪中代表団の御来訪を心から熱烈に歓迎いたします。私は、西尾団長先生をはじめ団員の皆さんにお会いできて大変嬉しく思います。本日は、6月20日にオープンしたばかりの陝西歴史博物館の概要を簡単に御説明いたします。

陝西歴史博物館は、西安の南郊、有名な大雁塔の近くにあります。敷地面積は約70,000平方メートル、建築面積は55,663平方メートルあり、規模と現代性において、我が国で第一級の歴史博物館です。

陝西歴史博物館は、周恩来総理の生前の指示に基づき、国家と陝西省により重点的に投資・建設された国家級の博物館です。その工事は国家“75”重点建設項目の一つであり、1986年11月28日に定礎され、1987年7月1日に着工、4年かけて、1991年6月20日に竣工・公開し、正式に内外の参観者を御招待しました。

この博物館は、古典と現代の建築芸術を一つに調和させ、優美な建築を創

造したものであり、唐代建築の広大雄渾な特色を取り入れ、我が国伝統宮殿の“車軸線が左右対称、主要部分と下位部分に調和的相関関係がある、中央に殿堂、四隅に高い建物”（軸線対称、主従有序、中央殿堂、四隅崇楼）という構造の特徴を手本としています。そして、全体に現代の技術と材料を用いているため、伝統建築様式と現代建築の双方の素晴らしさを表現し、典雅かつ重厚でありながら、素朴ですっきりしており、陝西の悠久の歴史と絢爛たる文化の象徴となっております。

陝西歴史博物館の展示室面積は 11,000 平方メートルあり、基本陳列、特別陳列及び臨時陳列の 3 部分より成り、展示ラインは約 1,500 メートル近くあります。

基本陳列《陝西古代史陳列》には、陝西で出土された文物のエッセンスが集中しています。精巧性と美が高く評価された商・周代の青銅器、素朴で飾り気のない秦・漢代の瓦当と陶俑、色とりどりの唐三彩、技術の優れた金銀玉器、透明で明るくきめ細かな各種の磁器、多種多彩な手工芸品等、すべて陝西で出土した数十万点の文物から精選され、大変希少で珍しい品ばかりでございます。特に、周・秦・漢・唐時代の陝西の歴史・文化状況に重点を置いて展示してある 3,000 以上の文物は、文物考古学の最新の成果を反映したものであります。

《唐墓壁画真品展》の 40 幅の本物の壁画は、陝西唐墓壁画の代表作とされており、はじめて参観者に公開されています。これらの壁画は、唐代の法令制度、生活習慣、文化や娯楽及び外国との友好的交流をありありと表現しています。その熟達した画法、華麗な色彩は、今日では実に得難い芸術です。

《昭陵文物精品展》は唐代の貴重かつ珍しい文物を大量に展示しています

が、これらは昭陵博物館から精選して送られてきたものです。

陝西歴史博物館は、現代科学技術を用いた管理を実施しており、館内には自動空調システム、多種機能の照明システム、精密な防火防犯システム、コンピュータ管理システム及び中央コントロールシステムを設置しています。文物保存についても、先進的な化学実験、テスト、修復方法を採用しています。また、講演ホール内には6カ国語の同時通訳の先進的設備があります。

陝西歴史博物館は、内外の貴賓及び参観の方々の御来館を心より歓迎申し上げます。そして皆様が素晴らしい文化を享受し、魂をみがき、楽しみ、文化交流を促進して、友好的交流を推し進めて頂きたいと願っております。

西尾団長挨拶

中国に出発する前、中華人民共和国駐日大使館の唐家璇臨時代理大使にお会いした時「陝西省に新たに設立された、中国で第一級の陝西歴史博物館を是非見て来て下さい。」と言われましたので、私どもは陝西歴史博物館の見学を楽しみにしておりました。本日は、よろしく願いいたします。

(引き続いて、陝西歴史博物館内を見学。)

(14) 陝西省人民政府表敬訪問

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 11 日（日）

17 時 30 分～18 時 10 分

〔場 所〕 陝西省西安市 陝西省人民政府

〔出席者〕 孫 達 人 陝西省人民政府副省長

秦 元 愷 陝西省人民對外友好協會副會長

劉 立 仁 陝西省人民對外友好協會副秘書長

劉 建 惠 陝西省人民對外友好協會職員

孫達人副省長挨拶

私は、陝西省人民政府を代表して、第 4 次日本全国知事会訪中代表団を熱烈歓迎いたします。

西安は中国の古都の一つですが、日本とのつながりが一番深く、日中友好を示す遺跡が、西安市にはたくさん残っております。昨日、秦元愷人民對外友好協會副會長から聞いたのですが、皆さん蘭州から西安に汽車で到着されてから、直ぐ青龍寺の弘法大師のおられた遺跡を見学されました。そして今日は、遣唐使の阿倍仲麻呂、吉備真備記念碑園を見学されました。これらの遺跡を見学され、深く感動されたことと存じます。

西安における外国人の記念碑は、日本人の記念碑だけがございませぬ。私は時折、そういう人々の記念碑を訪れますが、その人々は、当時の日中両国の文化交流について大変な貢献をなされた偉い方々です。今度の訪中代表団の知事閣下は、新しい遣唐使みたいな方々ですから、新しい貢献をして頂きたいと存じます。

最初、陝西省の白清才省長が代表団の皆さんにお会いする予定でしたが、急遽、出張に行っております。私が陝西省人民政府を代表して、皆さんの御来訪を歓迎いたします。

この場をお借りして、陝西省の様子を簡単に御説明いたします。

陝西省は、中国の北西部、黄河流域の中流にあり、長江最大の支流である漢水の上流地域に位置します。人口は約 3,300 万人、面積は 20.56 万平方キロでございます。

陝西省人民政府の所在地である西安市は、中国の六大古都の一つであり、かつての唐の都「長安」で、ローマと並ぶ世界的な大都市でした。紀元前 11 世紀の西周時代から秦、西漢、隋、唐など 11 の王朝の都が置かれ、970 年間にわたって中国の中心でありました。最も栄えた唐代には、東西 10 キロ、南北 9.5 キロのほぼ正方形をした城壁の中に宮殿と市街が設けられており、これが後に日本の平城京、平安京の手本となっております。

陝西省と言えば、やはり中華文化とか中華文明を良く表しているところと言われております。しかし、唐代以後は活力を失い、中華文化の中心は次第に東に移動していきました。明代になって再建され、西安と呼ばれるようになりました。経済の点では、今でもやや遅れていますが、新中国が成立したころの陝西省は、殆ど農業地帯になっておりました。

皆さんは良く御覧になられたことと思いますが、西安には城壁があります。城壁は唐代の内城で、高宗皇帝の住まい所として建てられました。現在の城壁面積は、唐時代の 7 分の 1 程度しかありません。新中国を建国した時の経済力は弱く、この狭い城の中の一部を田や畑にして耕しました。

新中国建国後、40 年を経過してからは、陝西省の経済の発展は比較的早く、

現代では中国西北地区における新興的工業都市の一つであります。農作物では、漢中盆地で収穫の盛んな米や、南部の秦、巴山地区で生産される生うるしなどが全国でも重要な地位を占めています。また、関中は中国でも有名な小麦と綿花の産地でもあります。教育の面では、大学・専門学校・研修センターなどが集中し、文化の中心地でもあります。

現在、陝西省は中国の観光地として有名な7カ所の中の一つになっており、観光事業を通じて陝西省の経済は大きく発展してきました。この間に、日本から多大の御協力を頂いて、陝西省の発展が更に促進されました。例えば、今、中国でも有名なカラーテレビのブラウン管工場などは、殆ど日本の日立・東芝といった大企業から輸入しています。中国と日本との合弁会社がかかなり多く、中国政府の賢明な政策によって、陝西省の経済は、着々と発展して参りました。

陝西省西安市では今、カラーテレビのブラウン管工場と、今日こちらへ来る途中に車から見えた合弁の製薬工場との二つは、経営が大変うまくいっています。今回の皆様のスケジュールは大変ハードですので、この二つの工場の見学は見合わせましたが、今度時間があつたら必ず御案内したいと思います。

一応、陝西省の状況を皆様に御説明しましたが、陝西省は中国で発展中の地域です。経済も発展中ですが、科学、文化も発展中です。中国や陝西省の目標に向かって発展するためには、陝西省の内部で色々な改革が必要です。それに外国の協力が不可欠でございます。その点について、私どもの隣国日本からの協力が一番大事だと思います。

間もなく、海部総理大臣が訪問される予定ですが、日中両国の合作の新しい時代に入ると思います。丁度、西尾先生をはじめとする日本全国知事会訪中代表団が陝西省を訪問され、私どもは非常に喜んでおります。私の御挨拶

は以上でございますが、重ねて歓迎の意を表させていただきます。

西尾団長挨拶

ありがとうございました。私達は中日友好協会のお招きで、今回、第4次全国知事会訪中代表団としてお国を訪れました。かつて5年前の1986年には、第3次全国知事会訪中代表団が、こちら西安市を訪問したと承知しております。私達は先程の孫達人先生のお話のように、今朝、蘭州から隴海線の夜行列車で御当地に参らせて頂きました。夜行列車に乗るのも一つの楽しみでしたけれども、何と云っても御地を訪問することが、私達の夢でございました。と申しますのも、昔の長安は日本と非常に関係が深いのでございます。また、日本の色々な話に良く出て参りますのが、かつて世界的な大都市でありました唐の都の長安でございました。

最近では、あの広大なスケールの秦始皇帝兵馬俑坑も非常に世界を沸かせた一つの大発掘だと思います。私達日本人の印象に深い盛唐期の詩人である『詩仙』李白や、詩聖と古来並び称されている杜甫などが、人間の心情の美しさ、人間の行為の美しさを歌われたのも、この長安の都でございます。また、楊貴妃や玄宗皇帝が、ロマンスの歴史を作られたのも、この長安でございます。それから、阿倍仲麻呂や空海といった人達が、留学をして修業されたのも、この長安の都でございます。それだけに、私達は非常な楽しみを抱いて、この西安を訪れた次第でございます。

昨日は、秦元愷人民対外友好協会副会長、また劉立仁人民対外友好協会副秘書長さんにお出迎えを頂き、昨日から今日にわたって各地を御案内頂きました。もう見るものすべてが大きな規模であり、膨大な数の名勝旧跡が残さ

れているのを現実に見て、私達は本当に驚きました。この西安の都自身も、日本の平城京（奈良）、平安京（京都）の一つのモデルになっていることでもありますし、非常に興味深く見学させて頂きました。

孫達人先生は、現代の陝西省は中国西北地区における新興的工業都市の一つとして、経済・科学・文化が非常に発展していると説明されました。私達は、カラーテレビのブラウン管工場や製薬工場などの立派な工場を実際に見せて頂きたかったのですが、見学の時間がとれなくて誠に残念でございました。陝西省への次回の訪問の機会を楽しみにしたいと思います。

今日は、日曜日にもかかわらず、孫達人先生は、私達に会って下さいまして、本当にありがとうございました。この町すべてを見学するには、1日や2日ではとても見きれません。もっともっと滞在して、この町を見せて頂きたいという思いで、私達の気持ちは一杯でございます。

丁度、中国は長江の大水害で被害が広がっていると伺っております。これからの救助・救済支援、復旧再建には、色々な御苦勞がোধりだと思ひます。心から皆様にお見舞を申し上げます。

陝西省のますますの御発展を心からお祈りいたします。また同時に、中国と日本の友好の絆が更に強くなることを、お互いに念じたいと思ひます。

孫達人副省長

暖かい御挨拶を頂きましてありがとうございました。皆様の御来訪を先週のテレビ・ニュースで拝見いたしました。中国へ来られてから直ぐ、長江の大水害のことで、皆さんの義捐金を頂きました。本当にありがとうございました。

(15) 趙啓正上海市人民政府副市長との会見

〔日 時〕 平成 3 年 8 月 12 日 (月)

18 時 30 分～19 時 08 分

〔場 所〕 上海市 新錦江飯店

〔出席者〕 趙 啓 正 上海市人民政府副市長

趙 雲 俊 上海市人民対外友好協会会長

俞 彭 年 上海市人民対外友好協会副会長

鄭 玉 在 上海市人民対外友好協会常務理事、処長

蔡 伯 鴻 上海市人民対外友好協会理事、副処長

張 雪 娜 上海市人民対外友好協会理事、科長

姚 柏 生 文匯報主任記者

趙啓正副市長挨拶

よくいらっしやいました。本日、私は大変嬉しく存じております。私は上海市人民政府を代表して、第 4 次全国知事会訪中代表団の皆様の御訪問を心から歓迎いたします。

今回、先生方は我が国の西北地域を御訪問になり、中国の歴史と文化について視察されました。今回皆様が行かれたところと比べると、上海市の歴史は甚だ浅いのです。考古学によりますと、上海では 3,000 年前の物も掘り出されたことがありますけれども、大都市として発展したのは、ここ 100 年間だけのことです。やはり今世紀のことでございます。

私は、中国を理解したり中国を認識して頂くためには、上海に来られることが大変重要だと思います。上海は近代史において、西ヨーロッパとのつな

がりの一番あったところです。また、日本との交流の一番重要な出発地でもあります。第二次世界大戦の前に、あるアメリカ人の方が「上海は中国を理解する鍵である。」という本を書きました。中国経済の発展について、もし理解なさろうとするならば、やはり上海を見て頂きたいと思います。

今回、お見えになった皆様の中で、お二人だけは前に上海に来られました。これから上海について御説明申し上げます。

上海は長江（揚子江）デルタの東端、中国大陸海岸線の丁度中央に位置し、西は江蘇省と接し、南は杭州湾にのぞみ、北は長江の海に注ぐところに当たり、東は東海（東シナ海）にのぞんでいます。面積は6,341平方キロで、そのうち市区面積は749平方キロ、郊外県面積は5,592平方キロ。南北の距離は約120キロ、東西は約100キロ。人口は約1,300万人でございます。

上海の中国における地位は、日本の世界における地位と同じくらいだと思います。と申しますのは、上海はもともと資源などはありません。すべて地方から運んで参ります。上海の工業は紡績工業、機械工業、電気メーカー、そして各種の軽工業です。近代的な工業を申し上げますと、人工衛星、自動車の製造、ジェット機の製造、マイクロエレクトロニクス等でございます。

上海にある工場が毎年国に納める金は、全国の約8分の1を上海が占めております。上海には約450種類の工業があり、殆ど中国各地にある工業種類を全部網羅しております。工業加工品の3分の1は輸出、3分の1は中国の各地へ運んで人民の生活に役立てています。残りの3分の1は上海の市民の需要に当てております。上海の近代工業の発展は既に140年の歴史を有しており、現在の設備は古くなっております。私がこう申しますと皆様は驚かれると思いますが、上海が現在持っている工業設備のうち15%は、第二次世界

大戦前の設備です。ですから、上海の工業改造の任務は非常に重大でございます。

明日、皆様が見学に行かれる浦東地域は、東上海と言ってもいいのですが、この浦東地域は今後 10 年間に特別な発展が期待されている地域でございます。浦東地域は、上海に属しているばかりでなく、ある意味から申しますと、全国に属しているのでございます。上海の経済の発展を見ると、また世界の浦東地域と言ってもよろしいと思います。そして、既に発展を遂げた上海の近隣に交通の便利な浦東地域という広い空き地があるのは、本当に奇跡のようなことなのです。広い空き地が残っている理由を申し上げますと、上海市を南北に流れている幅 500 メートルの黄浦江という川がありますが、この浦東地域は、黄浦江の東側に位置し、黄浦江と長江とに挟まれた、田園風景が広がる広大な地帯であり、今までは大きな橋が架けられていなかったからでございます。

中央政府と上海市は、浦東地域を、今までに建設がなされた広東省の深圳経済特区等よりも高い水準、高いレベルで開発しようとしています。浦東開発の位置付けは、特区でなく“新区”と呼称、基本的に経済技術開発区と同様の優遇措置が受けられる他に、一部の面で特区並みの優遇措置も実施され、外国の金融機関の支店設置や国際流通グループ・ヤオハンとの合弁による大型ショッピングセンター等の建設も認めております。また、浦東新区内で土地使用権有償譲渡の実施や、製造業以外でもインフラプロジェクトに従事する外資企業には所得税を 15% 軽減するなどの措置が講ぜられております。

これから工業の面では、浦東地域に最新の科学技術で近代化された設備を建設していきます。そして、同時に大きな保税区域を作ります。ですから、

浦東開発の計画は、中国や海外の投資者にとって非常に有利な計画だと思います。

御列席の知事の皆様、皆様は既に地方行政について豊かな御経験をお持ちです。これからも上海市をよろしく願います。

西尾団長挨拶

今日、私達第4次日本全国知事会訪中代表団が上海を訪問できましたことを大変嬉しく思います。大変お忙しいところ、趙啓正上海市副市長先生、趙雲俊上海市人民対外友好協会会長先生にお会いでき非常に光栄に存じます。

最初に、長江の大変な洪水で大きな被害を中国の皆様がお受けになったこと、そして上海地区も、今月7日に170ミリの集中豪雨があり、かなりの被害があったことを承りました。心からお見舞を申し上げますとともに、早い復旧を心から祈っております。

私達は北京の中日友好協会のお招きを頂き、8月3日に日本の成田空港を出発いたしました。そして、北京、蘭州、敦煌、西安をそれぞれ見学させて頂いて、本日御当地上海市を訪れた次第でございます。上海虹橋空港には、俞彭年上海市人民対外友好協会副会長さんをはじめ、御当地の皆様のお出迎えを頂きまして誠に感激いたしました。

私どもの上海市訪問は、中日友好協会との間で続けられております知事・省長の相互交流計画によるものでございます。確か1986年の第3次日本全国知事会訪中代表団も、こちら上海市を訪問させて頂いたと承知しております。そして昨年は、中国から白立忱寧夏回族自治区主席を団長とする中国省長団を日本にお迎えしております。

こちらの上海市は、日本の大阪府・横浜市と友好提携されておられますが、私ども代表団のうち5都県は既に中国各省・市と友好関係にあつて、定期交流・技術協力関係を重ねております。もう1県も近々友好提携をする予定となっております。

日中両国の堅い友好関係は、アジアにおける役割として重要な地位を占めており、これからの世界平和の貢献には不可欠であると思います。したがいまして、ますます中国と日本との友好の輪が深まるよう最大の努力を払わなければならないと考えております。

中国の西北地方から飛行機で上海市に参りますと、西北地方とこの上海地域は、地形も大変違つておりました。飛行機から見ましても、上海は本当に穀倉地帯だなという感じを抱いて参つた次第です。上海市の人口は1,300万人と伺いましたが、1,300万人と申しますと、世界中でも最も大きな都市の一つだと私は考えております。先程の趙啓正副市長先生の御説明では、この上海地区が、工業においても非常に発展しつつあるというお話でございます。人口が増えていくのも当然なことだと思ひます。正に中国の上海でなく、世界の上海という感じを深くした次第です。

私達は、上海の発展ぶりを見せて頂く時間が十分ありませんが、明日は浦東地区の開発を拝見できる機会を頂き、非常に楽しみにしております。

本日は、大変お忙しい中、私達をお招き下さいまして心から感謝申し上げます。上海のこれからの御発展を心からお祈りいたしております。どうもありがとうございました。

(16) 浦東新区視察

〔日 時〕 平成3年8月13日（火）

9時30分～11時05分

〔場 所〕 上海市 上海市人民政府浦東開發弁公室

〔出席者〕 程 国 榮 上海市黄浦江大橋建設公司弁公室主任

俞 國 祥 上海市人民政府浦東開發弁公室開發管理処副処長

李 佳 能 上海市人民政府浦東開發弁公室開發管理処副主任

胡 季 威 上海市人民政府浦東開發弁公室開發管理処工程師

鄭 玉 在 上海市人民對外友好協會常務理事、処長

蔡 伯 鴻 上海市人民對外友好協會理事、副処長

張 雪 娜 上海市人民對外友好協會理事、科長

俞國祥副処長説明

西尾団長並びに日本全国知事会代表団の先生方、私達の浦東開發地区を御視察頂き、ありがとうございます。私達は浦東開發事務所を代表して心から歓迎いたします。

上海の交通が混雑している様子は、もう先生方もお気づきになられたことと思います。ですから、浦東開發の第一歩は交通事業を優先的に進めることでもあります。先程、浦東開發事務所に来られる途中に御覧頂いた南浦大橋は、年末に正式にオープンいたします。南浦大橋が開通して車が通れるようになれば、ある程度交通の混雑状態が緩和されると思います。もし、来年上海にお見えになるならば、南浦大橋を通過して浦東新区に来られるでしょう。また、再来年上海へおいでの時には、楊浦大橋（寧国路大橋）も渡って浦東新区へ

来ることができると思います。これから上海市浦東地域開発の概要をビデオ
で見て頂き、足りない部分は補足説明いたします。

1. 上海市・浦東地域開発構想の概要

- (1) 上海市の中央を南北に流れる黄浦江をはさんで、市街地と向かいあう
浦東地区 350 平方キロ（東京 23 区の約半分の広さ）を、今後世紀をまた
いだ 30～40 年間に大々的に開発し、それによって上海市を東アジア最大
の経済・金融都市にしようとする一大国家プロジェクトである。
- (2) 開発費は、最初の 10 年間だけでも 500 億元（約 100 億ドル）以上と見
られており、外国資本の導入が成功の鍵となる。そのために、産業基盤

写真あり

整備と一部経済特区並みの投資優遇政策が計画されている。

2. 構想の背景

(1) 広州・深圳特区などを中心とする華南地方は、香港と近接する地理的条件と国から与えられた優遇政策とをテコとして飛躍的に発展している。

一方、これまで中国経済の牽引車を自負していた上海市は、国への上納金が巨額に上ることもあり、相対的に発展のスピードが低下している。

(2) また、黄浦江の西側に広がる市街地（浦西地区）は、270 平方キロに 680 万人が住む過密状態にあり、民生向上と経済発展の大きな制約となっている。

(3) この打開策として、350 平方キロに 110 万人が住み、開発の余地が大きい浦東地区の大開発により、中国随一の工業力と質の高い労働力とを誇る上海経済を活性化させるとともに、民生向上を計ることにしている。

(4) また国としても、上海に対し、長江デルタ大経済圏におけるリード役としての機能、環太平洋経済圏における将来の国際都市としての機能を持ち合わせた第二の香港としての役割を展望しており、そのため、浦東開発計画を 1990 年代の経済開放政策のシンボリックプロジェクトとして捉えている。鄧小平氏、李鵬首相をはじめとする多数の指導者が上海を訪れ、浦東開発の支持を表明している。

3. 開発計画

(1) 開発区域

浦東地区の計画面積は 350 平方キロ、都市化される地域は、黄浦江と将来建設される予定の外環状道路とに囲まれる浦東地区の一部地域で、面積約 177 平方キロを開発の対象とし、五つの総合区に分け重点的に開発する。

① 外高橋・高橋分区

産業配置 港湾、輸出加工区、保税區

開発面積 75 平方キロ

常住人口 26 万人

② 慶寧寺・金橋分区

産業配置 工業地区

開発面積 21 平方キロ

常住人口 34 万人

③ 陸家嘴・花木分区

産業配置 商業、金融、文化地区

開発面積 28 平方キロ

常住人口 35 万人

④ 周家渡・六里分区

産業配置 工業地区

写真あり

開発面積 34 平方キロ

常住人口 40 万人

⑤ 北蔡・張江分区

産業配置 科学、研究、教育地区

開発面積 19 平方キロ

常住人口 35 万人

(2) 開発の全体のスケジュール

1 段階 第 8 次 5 カ年計画期間 (1991～1995 年)

環境・交通整備、輸出加工区・保税區設置 (開発開始の時期)

2 段階 第 9 次 5 カ年計画 (1996～2000 年)

インフラ整備継続 (重点開発の時期)

3 段階 2000 年以降の 20～30 年間

浦東建設、浦西市街区改造 (全面開発の時期)

(3) 当面 (1991 年～1993 年) の開発スケジュール

第 8 次 5 カ年計画期中 (1991 年～1995 年) は、三つの開発区 (各 5 平方キロ) を重点的に開発。1993 年までに二つの大橋 (南浦大橋、寧国路大橋)、内環状道路などの十大インフラプロジェクトを建設し、残りの 2 年間で各種プロジェクトを発展させる方針。

◎三つの開発区

① 陸家嘴開発区……………旧租界時代に栄えた外灘 (バンド) の対岸の

金融、商業、文化地区

② 外高橋自由貿易区……………港湾、輸出加工区、保税區

③ 金橋工業開發区……………工業地区

◎十大プロジェクトの建設

- ① 南浦大橋……………1991 年末完成、6 車線
- ② 楊浦大橋（寧国路大橋）……………1993 年完成、6 車線
以上の二つの橋は、旧市街区と浦東を結び、吊橋で 5 万トン級の船舶航行が可能。
- ③ 内環状高速道路（全長 45 キロ）
- ④ 楊高路の拡張整備（幅 50 メートル、8 車線、洋徑から外高橋までの主要道路であり、既存の道路を拡張整備するもの。）
- ⑤ 外高橋に順岸式万トン級のバース 4 埠頭
- ⑥ 外高橋に 360 万キロワットの火力発電所（第 1 期 120 万キロワット）
- ⑦ ガス工場
- ⑧ 通信施設（電子交換機を 5 万回線にする。）
- ⑨ 上水道（1 日の給水能力 40 万トン→3 年後に 80 万トン）
- ⑩ 下水道

4. 資金調達計画

- (1) 第 8・第 9 次 5 カ年計画（1991～2000 年）期間中の総所要額 500 億元（約 100 億ドル）

[調達方法]

- a. 中央政府からの財政援助（貸付け）で 65 億元、中国国営銀行 6 行から 200 億元を予定。
- b. 上海市財政収入の蓄積（10 年間で 100 億元程度の財政収入が可能）
- c. 対外借入（世界銀行、アジア開発銀行、政府借款、民間融資）
- d. 直接投資他

(2) 当面（1991～1993年）の所要額 100 億元（約 20 億ドル）

〔調達方法〕

a. 中央政府財政援助 65 億元

b. 上海市財政収入 35 億元

5. 海外からの投資に対する主な優遇策

浦東地区には、1990年4月30日に10項目の優遇措置が講じられた。主な内容としては、

- (1) インフラ建設への投資を認可。
- (2) 金融、商品小売業等第三次産業の経営も可能。
- (3) 保税區を設置し、外資の中継貿易、貿易代行を認可。
- (4) 土地所有權の有償譲渡（最長 70 年）。
- (5) 所得稅輕減（15%）。

以上の優遇措置の具体的な実施細則として、1990年9月10日に9の関連法規が発表されている。

〔質疑応答〕

問 開発される浦東地域は、農村地帯か。

答 浦東開発地域は、2種類あります。1種類は、最初からの農業地帯で沼地です。この地域が新しく開発する場所です。割合に広く約 100 平方キロあります。もう 1 種類は、昔から町ができている場所ですが、これから改造をして付加価値を高める必要のある地域が約 10 平方キロあります。

問 農家の人達は、これから先どうなるか。

答 農家の中で希望する人達は、移転して都会の戸籍になります。将来、都

会の住民になる人口は、約 30 万人です。その他は、農村に残ります。

問 家屋等を全部移転する必要があるのか。

答 そうです。全部移転いたします。

問 移転にかかる経費は、なかなか大変だと思うが、この浦東開発地区に入
って来る金融、情報、商業、流通部門の企業のほかに、生産工場などの企
業は入って来るのか。

答 生産部門では、自由貿易加工業、ハイレベルの技術工業、もともと浦西
の旧市街区にある生産工場、以上の 3 種類があります。

問 そうすると、従来の古い上海浦西地区にいた人達が、こちらの浦東開発
区域に移転して来るのか。

答 将来の浦東地区の人口計画は、約 200 万人を予定しております。その人
口の 3 分の 1 は、旧市街区の浦西に最初から住んでいる人達で、これから
浦東地区に引っ越して来ることになります。

問 浦東開発の主たる目的は何か。

答 中国における 1990 年代の開放政策のシンボリックプロジェクトとして、
上海浦東開発計画を位置付けています。そして、揚子江デルタ地域の経済
を発展させ、将来は環太平洋経済圏における最大の経済・金融都市を目指
しております。

問 先程の話に関連するが、農業をしていた人達が都市の方の戸籍に入るた
めには、農業をやめることになると思う。都市住民になってから、直ぐ働
きに行く先はあるのか。

答 元来技術を持っている農家の人は、自分で企業を設立しても良い。ま
た、今の農村地帯に昔からの企業があるので、農家の一部分の人は、そ

の企業に入ることになります。いわゆる人民公社経営・郷クラス経営の会社に入ります。残りの農家の人達は、国営の工場や会社に就職することになります。

問 これらの人達は、浦東開発のために犠牲になると思う。住民の間で感情の対立問題は起きないのか。

答 将来は非常に素晴らしい都市になるのですから、この人達は犠牲ではなくして、浦東開発地域のために奉仕することになります。

問 大変壮大な計画で素晴らしいと思う。中国政府が発起して「発展途上国環境発展閣僚会議」を北京で6月に開催し、参加された発展途上国の地球規模の環境・開発問題に対する深い理解と大きな関心を表明された。その環境の問題について、先程、下水道の整備をされるというような説明もあったが、今度の開発計画区域の中で十分賄えるのか。

答 先生の御指摘のように、私達はこの開発を通じて、第一歩の段階でインフラ施設を先に作ります。このインフラ施設の中で、下水道事業や水道事業などを完全に整えてから開発を進めます。

問 これからの都市は、ゴミを焼却する清掃工場も必要ではないかと思う。ゴミ焼却工場は、開発の初期の計画の中にあるか。

答 ゴミを焼却する清掃工場は、開発計画の中にあります。現在の上海市のゴミの処理方法は、1カ所に集めて埋める方法と焼却する方法の2種類があります。今、上海から実際に廃棄されているゴミは、日本のゴミより質が良くないので、1カ所で試験的に焼却処理を行っております。